

平成 27 年

プロバス生涯学習サロン

第 19 回

学習サロンのテーマ

広げよう！ プロバスクラブの楽しみの『環』

- ・学ぼう 豊かな社会経験
- ・語ろう それぞれのライフワークと趣味を
- ・広げよう 知り合いと知識を



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

主 催 : 東京八王子プロバスクラブ

後 援 : 八王子市

八王子市教育委員会

東京八王子南ロータリークラブ

―― 目 次 ――

ご挨拶	1
第19回生涯学習サロン カリキュラムと日程	2
開講式 2月26日(木)	3
特別講話「日本政治の昨日・今日・明日」	6
サロン第1週 3月12日(木)	
A 桜の絵手紙	10
B 我が国の国際貢献(JICAでの経験を通じて)	12
C くらしを豊かにする宇宙のテクノロジー	14
D 人口減社会に直面した市内大規模住宅団地の今後を考える	16
サロン第2週 3月26日(木)	
A 懐かしの映画とその音楽	18
B 廃プラスチックはゴミか	20
C 近世江戸時代の八王子を知る	22
D シルバーエイジを輝いて過ごすためにパートIV	24
サロン第3週 4月9日(木)	
A アナログとデジタルの話	26
B 食料輸入大国—飽食の先に見える暗影	28
C ヨーロッパ中世の気候変動とジャガイモ飢饉	30
D 正念場を迎える日本経済	32
野外サロン 4月23日(木) 横須賀「軍港めぐり」	34
野外サロン集合写真	36
閉講式 5月14日(木)	37
特別講話「在宅医療と看取りまで」	41
さよならパーティー	45
第19回生涯学習サロン参加者数	48

ご挨拶 「第 19 生涯学習サロンを終えて」

東京八王子プロバスクラブ

会長 土井 俊玄

2月 26 日に開講した第 19 回生涯学習サロンは、今年もまた関係各位のご支援を賜り、多くの市民の皆様の参加を得て、無事に日程を終えることができました。数ある催し物の中から、プロバスクラブの学習サロンをお選びいただいたことに改めて深く感謝申し上げます。

また、開講式や閉講式には、八王子市長石森孝志様、教育長の坂倉仁様をはじめ、多くの御来賓の皆様にご出席をいただき、この生涯学習サロンにはなやかに華を添えて下さったことに深く感謝申し上げます。

さて、今回の学習サロンを振り返ってみると、開講式には特別講師として、NHK の解説主幹であり、「日曜討論」等の司会でお馴染の島田敏男先生をお迎えして、日本が当面している様々な課題を解り易くお話しいただき、政治経済や外交問題について、幅広く知見を広げる喜びに浸ることが出来ました。

学習サロンでは、3 日間に延べ 12 の講座が設けられました。私達の日常的な知見ではとらえ切れない問題について、例えば、国際貢献や金融・経済などの講座があり、日常生活に心の豊かさを与えてくれる、絵手紙や映画などの講座もありました。さらに、高齢社会に対応して、シルバーエイジを明るく輝いて過ごすための知恵や廃プラスチックの活用、八王子の歴史など沢山の講座を楽しんでいただけたと思います。

野外サロンでは、多くの方には初めてかと思われますが、横須賀「軍港めぐり」のクルージングで、アメリカ海軍や海上自衛隊の艦船を解説付きで見学することができました。

閉講式では特別講話として、数井先生より「八王子で生き、八王子で逝く」と題して「在宅医療と看取りまで」のお話がありました。正に待ったなしのお話でしたので、皆真剣に聞き入っておりました。最後のさよならパーティーでは、市民の方々とクラブ員とが一体となって楽しいひと時を過ごすことができました。

来年もまた皆さんとお会いできることを楽しみにしております。そのため、私達クラブ員は、今年のサロンにも増して、なお一層魅力あるサロンになりますよう、努力することをお誓いして、御礼のご挨拶とします。



第19回 生涯学習サロン カリキュラムと日程

場所：八王子エルシィ

開講日 平成 27 年 2 月 26 日(木) 13:30～16:00	13:30～14:00 開講式 14:00～14:30 コーヒータイム 事務連絡 14:30～16:00 特別講話 『日本政治の昨日・今日・明日』 講師 島田 敏男先生 NHK解説主幹 山梨県甲府市出身。中央大学法学部政治学科卒業後、NHKに入局。主に政治・外交・安全保障・選挙のスペシャリストとして、これ等の解説を担当され、現在は「日曜討論」等の司会やNHK解説員室の番組に多く出演されている。
サロン 第 1 週 3 月 12 日(木) 14:00～16:00	テーマ A さくら絵手紙 B 我が国の国際貢献 C くらしを豊かにする宇宙テクノロジー D 人口減に直面した市内住宅団地の今後を考察
第 2 週 3 月 26 日(木) 14:00～16:00	テーマ A 懐かしの映画とその音楽 B 廃プラスチックはごみか C 近世江戸時代の八王子を知る D シルバーエイジを輝いて過ごすためにパートIV
第 3 週 4 月 9 日(木) 14:00～16:00	テーマ A アナログとデジタルの話 B 食料輸入大国一飽食の先に見える暗影— C ヨーロッパ中世の気候変動とジャガイも飢饉 D 正念場を迎える日本経済
野外サロン 4 月 23 日(木)	横須賀「軍港めぐり」～アメリカ海軍や海上自衛隊の艦船が解説付きで見られる日本唯一のクルージング。 記念艦「三笠」自由見学。舟盛定食とショッピング。
閉講日 5 月 14 日(木) 14:30～19:00	14:30～15:00 閉講式 15:15～16:30 特別講話 「在宅医療と看取りまで」 講師 数井 学先生 数井クリニック院長 昭和 57 年順天堂大学医学部卒業。順天堂大学胸部心臓外科を勤務後、平成 8 年聖八王子病院長を経て、平成 19 年数井クリニックを開設され院長となる。八王子市医師会理事、八王子居宅介護支援事業所協議会代表理事。 17:00～19:00 さよならパーティー

開 講 式

日 時 平成 27 年 2 月 26 日 13:30~16:00

会 場 八王子エルシィ 4 階

出席者 サロン会員 73 名 プロバス会員 64 名 来賓 7 名
計 144 名

来 賓	八王子市民活動協議会	理事長	石井 利一様
	東京多摩プロバスクラブ	会 長	山田 正司様
	東京日野プロバスクラブ	会 長	鷺尾 昭夫様
	東京多摩プロバスクラブ	副会長	神谷 真一様
	東京多摩プロバスクラブ	理 事	倉賀野武士様
	東京多摩プロバスクラブ	理 事	稻田 興様
	東京多摩プロバスクラブ	幹 事	西村 政晃様
	東京多摩プロバスクラブ	前幹事	北村 克彦様
	東京日野プロバスクラブ	前会長	後藤 一郎様
	東京日野プロバスクラブ	幹 事	後藤 紀之様



式 次 第

司 会 寺田 昌章

土井 俊玄
(司会)

1. 会長挨拶	八王子市民活動協議会	理事長	石井 利一様
1. 来賓紹介	東京多摩プロバスクラブ	会 長	山田 正司様
	東京日野プロバスクラブ	会 長	鷺尾 昭夫様

1. 生涯学習サロン講座話し手紹介 (司会)

1. コーヒーブレイク

1. 特別講話 「日本政治の昨日・今日・明日」

講 師 島田 敏夫先生

N H K 解説主幹。政治・外交・安全保障・選挙のスペシャリスト
として、N H K 解説委員室制作の番組に多数出演。



会長挨拶 土井 俊玄



皆さん、今日は。会長の土井でございます。本日は大勢の方々に、私どもの生涯学習サロンにご参加いただき、厚く御礼申し上げます。当サロンは今年で 19 回目を迎えますが、これほど長く続けてこられましたのは、ひとえに聴講していただけ皆様の温かいご支援あればこそ、と日頃より感謝

申し上げております。

学習サロンのテーマは、広げよう！プロバスクラブの楽しみの『環』として、「学ぼう～豊かな社会経験」「語ろう～それぞれのライフワークと趣味を」「広げよう～知り合いと知識を」を三つの標題に掲げております。

どうぞ皆さん、このサロンを通して人生の楽しみや喜びをお持ち帰りいただけるよう切に願っております。このサロンは回を重ねるごとに、内容豊かなものにならなければなりません。プロバスクラブの全員が素敵なサロンを目指して努力して参りますので、末永くご愛顧を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

来賓挨拶 八王子市民活動協議会 石井 利一様



皆さん、こんにちは。第 19 回生涯学習サロンの開催、本当におめでとうございます。

何と言っても第 19 回という数字に驚いております。市民活動のような分野で 19 回連続の講座を持つというのは本当に至難の業でございます。この 19 年間、プロバスクラブさんが色々な努力をされてここまで継続されてきたということで本当に尊敬しております。

市民活動の分野では最近ご承知の通り日本全体が長寿国になっております。長寿国というのはおめでたい話なのですが、考えてみますとほぼ 25%、4 人に 1 人が高齢者という社会になってしまっているということでございます。八王子市もその例外ではありません。あと数年で確か 25% に達するはずです。ということは、若い世代にかなりの経済的な負担がかかるということでございまして、我々シニアにとって若い人に何ができるかというと、元気であることが一番であり、高齢者が自立していく社会を日本全体につくっていかなければなりません。

ある大学の先生がシニアにとって必要なことは教養と教育だと説いています。「今日用事がある」「今日いくところがある」ということです。学習サロンはまさにこの「教養と教育」を兼ね備えた講座であります。そういう面では色々な先生の話を聞くことは非常にいいことで、脳の活性化につながるのではないかと思います。

もう一つ、学習サロンで感心するのは、この講師陣が全部自前なんですね。プロバスクラブは人材の宝庫なのです。プロバスクラブが色々な講座を 19 回も開催できたというのは、人材に恵まれているからだと思います。羨ましい限りです。ご挨拶は以上です。

来賓挨拶 東京多摩プロバスクラブ会長 山田 正司様

本日は八王子プロバスクラブ生涯学習サロンの開講式にお招きいただきありがとうございます。19回もの生涯学習サロンが、さらに内容を充実され、今年も開催されますことを心からお喜び申し上げます。



私は多摩市のプロバスクラブで、今年で発足11年目になります。八王子プロバスクラブは20年もの歴史があり、私共の発足に際しましては大変お世話になりました。八王子プロバスクラブは私共のお手本であり、兄貴でもあり先輩でもあり師匠でもあるわけです。

その象徴がこの生涯学習サロンです。私共10年経ちますが、八王子をお手本に何とかできないかと色々企画するのですが、これは大変なことです。19年も続けられるということは何だろうか。やはり八王子の持つ立地。豊かな自然と歴史と文化、そして行政の支援も大事ですよね。何よりも市民の文化レベルが高いのではないでしょうか。

このプロバスクラブは世界的組織として、日本にも100以上あるのですが、その中で八王子のプロバスクラブは秀逸だと思っております。私たちの先輩として大変に誇らしく、やはり首都圏の中で多摩の地域というのは大変大切だと思うわけです。今後も皆さんその後についていきますので、どうか先輩として立派に成し遂げていただきたいと思います。最後に学習サロンが見事に完遂されることを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

来賓挨拶 日野プロバスクラブ会長 鷲尾 昭夫様



東京日野プロバスクラブ会長の鷲尾でございます。本日は第19回生涯学習サロンが盛大に開催されましたことをお祝い申し上げます。併せて、開講式にお招きいただき厚く御礼を申し上げます。この活動が地域社会での存在価値を高めており、高く評価されておられることは御同慶の至りと存じます。

このように八王子プロバスクラブは創立以来、学習サロンをはじめ、多種多様な活動を地道に続けられております。近々20周年を迎えることです。日野プロバスクラブはこの秋に5周年を迎えます。八王子を見習って、さらに地域活動を進めたいと思っております。ぜひ皆様のご指導、ご支援を賜りたいと思います。本日の開催にあたって、スタッフの皆様をはじめ関係の方々のご努力に敬意を表します。

メッセージ 八王子市長 石森 孝志様

東京八王子プロバスクラブ「第19回生涯学習サロン」開講式が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

日頃より本市の生涯学習の進展に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このサロンが、さまざまな方との交流を通じ、市民の新たな学びが高まることを願っています。本市の生涯学習の充実に今後もお力添えをお願いするとともに、土井会長をはじめ、東京八王子プロバスクラブの益々のご発展を祈念申し上げ、お祝いの挨拶といたします。

第19回生涯学習サロン 開講式特別講話

日本政治の昨日・今日・明日

講師 島田敏男様

NHK解説主幹



皆さん、こんにちは。今日はお招きをいただきましてありがとうございます。

私は甲府の生まれ、55歳。中央大学法学部政治学科で学びました。NHKに入り、最初は記者として福島放送局に行きました。のどかでニュースの少ないところでした。それがニュースだらけになって複雑な気持ちです。福島と青森の下北半島で原子力開発について取材しました。当時、福島では第二原発の原子炉の設置許可を取り消せという大きな裁判がありました。今から30年近く前のことです。その時は電力会社と国が全面勝訴し、心配はないという判決が出ました。その頃の原子力開発は順調に行っていた訳です。しかし、東日本大震災の事故で、かつての判断というものに対して検証が必要という時代に入ったということあります。

この国の根幹をなす政策決定は政治の世界だということで、永田町取材に手を染めることになりました。昭和62年に政治部記者となって青森から赴任し、最初にやった仕事が中曾根総理大臣の総理番でした。

中曾根さんが国鉄民営化とか電電公社の民営化などをしたのですが、今振り返ると世界の冷戦構造が行き詰って、新しい時代を迎えるんだという入口のところで、中曾根さんはアメリカと手を握るという役割も果たしたという一面があります。これから先、歴史の再評価ということになれば、あの時の中曾根さんの役割は高い評価を得ると思います。

一方で原子力発電というものを、核エネルギーの平和利用という形で、この国に定着させたのも中曾根さんです。そこが評価の難しい、相反する要素も含まれている訳です。中曾根さんが「自分は歴史法廷の被告人として、後から裁かれる。それでいいんだ。」とずっとおっしゃっていて、色々な批判を受けても、それに逐一反論することをしないでじっと耳を凝らしていました。このことは、ほぼ5年に亘って「この国の総理大臣をやった。その激動の時代に舵取りをした。」という自信の現れなのかなと思います。

それが本日のテーマであります「日本政治の昨日・今日・明日」をたどるときの、「昨日」の部分のイントロダクションだと思います。

最近では、日本政治の「昨日」と言うことになりますと、昨年末にありました衆議院の解散総選挙。安倍さんが何ゆえあそこで選挙に打って出たかについて、未だに判然としないという方も大勢いらっしゃるかもしれません。結論的に言いますと、あれは安倍晋三さんが自分で時間の管理をしたかった。自分が時間を支配する。これこそが長期政権にとって必要なんだ。まさにその一点で決断したということに他ならないと思います。

結果的には自民党と公明党の大勝利になりました。一種の政治的な賭に出で、安倍さんがその賭けに勝ったということなのでしょう。それに対して色々な批判があるのは当然です。しかしそれは権力者の特権として付与されていますから、それを「使った」ということです。そ

いった「使い方」に対して、積極的なノーを突きつけずに、投票に行かないで投票率が下がるだけになった。投票率が戦後最低になってしまった。これは国民の側も今後教訓とし、大きな課題にしなければならないと思います。

ではその安倍内閣の現在はどうなのかを手元の資料を見ながらお話をしましょう。ここからが日本政治の「今日」です。

安倍さんの解散のきっかけとなった二人の女性閣僚の辞任はどちらも問題視されました。今回の西川農水大臣も、今日の下村さんもお金の問題。野党にとってみると生産的ではないけれども、黙って見過ごすわけにもいかないというテーマになってしまっているんですね。政党助成金を受け取っていながら、一方で表に出せないような資金獲得のルートがあつていいのか。この問題意識というのが重要になってくるわけです。そんな訳で国会が厳しい状態になってきました。

資料の「NHK の世論調査のグラフ」で、安倍内閣を「支持する」が 54%。「支持しない」が 29%で、3か月連続で安倍さんの内閣支持率が上がっています。安倍さんの支持を上向きにさせたものは何かと言いますと、安倍内閣の経済政策。これに対する「評価する」という答えが内閣支持率と同じように、11月、12月と徐々に増えています。アベノミクスで「日本経済を活性化してデフレから脱却する」ことをうたい文句にして、第二次内閣を発足させて、株価が上がるなどそれなりの成果は出ています。

しかし、景気が回復したという実感は出ていません。特に去年の11月の「評価しない」というのが 48%で、評価するより 1%多かった。物価が上がると政治家に対する批判が沸き起こる。私も日曜討論が終わった後で、女房と一緒にスーパーに行き、値動きや買い物をしている人の動きを見て、政治が生活感覚に沿っているかを見ると、買い物に来る人に危機感が見られました。政治と国民生活の接点が離れていくと、時の権力者に厳しい刃が向くと実感したものです。

世論調査の3つ目のところ。日本人二人のイスラム国による殺害事件。

イスラム国は過激派組織 IS。日本語でイスラム国を繰り返すのはよくないからと少しづつ表現を変えている。結局は国家を名乗っているけれども国の呈をなしていません。

日本人殺害事件の時に安倍さんが中東訪問して、その最中に「二人を殺すぞ」という動画が流れた。そして安倍さんが帰国した後で、二人とも命を絶たれた。エジプトでした演説の中で「イスラム国と戦う国々を支援する」と敵・味方を明確にさせたことが裏目に出たのではないか、という議論がずっと続いている。しかし、あの二人の日本人が拘束されている時に、どういう状況にあったか、詳しく検証してみないと評価は簡単にはできない問題だと思います。

イスラム国との問題で二人の命を失ったその後も、安倍総理は「中東地域への支援を拡充する。力を入れる。」と表明。これについては「評価する」という声が 65%ですから 3 分の 2。人道支援は日本が以前からもやっていましたし、さらにやるべきだと。ここは国民の大きな共通了解だと思います。中でも与党の支持者は、4人に 3 人までがそう答えています。

次に世論調査の6の「戦後 70 年・首相談話」について

首相談話づくりのために、有識者と言われる人たちの委員会が設けられました。座長は日本郵政の社長さんですね。ナショナリズムを重視すべきと言う学者から、国際的な協調が必要だという学者。読売新聞の女性記者と毎日新聞のコラムニストの編集員も入っていて様々です。

全体とすると、何となくバランスをとろうという意図が見えるけれど、それでも「いろんな意見があること。それを聞こうとしていること。」を国の内外に示そうというのはいいことだと思います。

一番のポイントは村山さんの 50 年談話。そして 60 年の時的小泉談話。「痛切な反省とお詫び」というキーワードを盛り込んだ方がいいかどうか。「どちらとも言えない」が 41%ですね。これはまだまだ判断するのが難しいという気持ちの表れです。与党の支持者でも「どちらとも言えない」が 43%もいる。無党派層と同じです。有識者の委員会の中でも様々な意見が少しづつ報道され、外に出てくるようになってきて、国民の考えも定まってくる。

私の番組に安倍さんが出てくれた 1 月 25 日の日曜討論で「戦後 70 年談話」についてインタビューしました。「植民地支配、侵略に対する痛切な反省とお詫びを盛り込むかは有識者の皆さんのご検討を踏まえた上で最終的に判断する。」と言うと思ったら全然違いました。

安倍さんは、「全体としては踏襲するが、こまごまとした言葉の議論をしない。安倍内閣としての 70 年談話を作る。」と言ったものだからスタジオにいた秘書官たちもビックリ。ただ「全体として踏襲する」と言っていますので、全否定のような総理大臣談話は出せない。これはまさに外交文書です。日本人がどう見られるかを大いに意識したものでなくてはなりませんが、まだまだ集約の仕方は分かりません。

次に、世論調査 7 の原発再稼働について、政府の方針に「賛成か反対か。どちらとも言えないか。」を頻繁に聞いています。去年の 11 月以降、賛成が 24%、つまり 4 人に 1 人。この数字はなかなか厳しい数字です。反対の声というのは福島原発事故があつてからは簡単には消えませんね。「どちらとも言えない」という 30%以上あるこの人たちの中から、「賛成に回ってもいいな」と言う人をどれだけ増やすかというのがしばらくの課題でもあります。

国民にとっては「原発の危険性、技術的にもまだ結論は出ていない。使用済み核燃料、放射性廃棄物の後処理をどうするのか。」この問題がセットになってこないと賛成が過半数になるのは難しい。日々その分野の人たちが様々な議論を重ねている。消費者も学習を重ねてきてるので、議論の展開を見ていただきたい。

次に、2 月現在の政党支持率。

自民党が一強で赤いライン。41.2%。グレーが無党派層で 30%。青い線の民主党の 10.3%。民主党のラインも少し上向いているので、無党派層からの流入がある。2008 年から 2009 年にかけては無党派層がかなり少なくなつて、民主党にのつかっていた。しかし、継続的に政権を担当させるということについて国民がノーを突きつけ、結局今も衆議院で 70 議席台です。この民主党がもう一度息を吹き返すのにはどうしたらいいか。それには、一人一人の候補者がもっと力強くならなければいけない。今後、野党第一党がどうなるか、永田町を見ていく上の観察ポイントがあります。

次に「政治状況の今」について。

理屈っぽい話ですが集団的自衛権と集団安全保障の二つの問題。この議論は大型連休明けから夏休みにかけて、大いに沸騰すると思います。今はまだどういう案を出すかが定まっていません。新聞報道を読んでもよくわかりません。今日はその前提だけ話をします。

時論 1 という年表のようなものを見て下さい。

吉田茂が総理大臣だったときに日本国憲法を公布（昭和 21 年）し、日本国憲法の 9 条には戦力は保持しないと書いてあるにもかかわらず、軍隊と同じようなしきみをもった自衛隊を昭 29 年に発足させました。これは当時のアメリカの極東政策の変更で、日本がいつでも自分で守れるように日本政府に求めてきた結果です。

憲法 9 条の行間を読むようにして、極めて限定的な活動しか行うことができない軍事組織として自衛隊を作った。その後、湾岸戦争に代表されるような局地戦争があちこちで起きるようになつた。そして、国連が入らなくてはならないという新しい時代に入りました。そこで出てくるのが PKO。局地戦争が終わった後の警備や人道支援が可能となる法律を 1992 年に作り、海外派遣が法律上初めて位置づけられました。

今度の安倍さんがやろうとしていることは、集団的自衛権の行使を限定的に認めるという中身で、それまでの日本の政府は集団的自衛権は駄目、日本はそれに当ることをしないと言い続けてきたものを、2014 年 7 月 1 日の閣議で変えた訳です。これまでできないとしてきた集団的自衛権の一部についても武力行使ができるようにするということです。

我が国に対する武力攻撃が発生した時に、従来のものに「我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し」、これにより「国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある」という抽象的な言葉が加わつた。この説明も明らかではないし、「我が国の存続が脅かされる時」ということについても明らかにされていない。これを明らかにすることが国会の審議になります。

もう一つ大事なのが集団安全保障。湾岸戦争の時の多国籍軍とか、アメリカが展開している有志連合。そういうものに自衛隊がどこまで後方支援で協力ができるか。

7 月の閣議決定では後方支援が可能なのは、現に戦闘を行っている現場でない場所。戦闘が行われているかどうかは、行ってみれば分かるだろうという話になる訳です。そのような解釈の変更を加えることによって、白い部分が増えている。グレーの部分が新しい解釈のもとでは減っている。グレーゾーンを減らして白い部分を増やす、これが大きな柱になっています。

最後に、これから先の日本の政治の役割。

2007 年に日本は超高齢社会に突入した。65 歳以上人口が総人口の 21%。更に人口減少も進んでいくということになると、「この国の財政をどうするのか。社会保障の内容をどうするのか。財源をどう確保するのか。消費税を 10% に引き上げた後、どのような政策選択に同意するのか。」が大きな課題となります。

これからは、資産をたくさん持っている中高年の方々に「お金を使ってくれれば課税しません。ただ子孫に残すためだけなら、それは課税対象にします。」ということが真面目に議論され、ある程度の余力ができた皆さん、「それを社会のためにどう生かすか」ということを考えていく必要がある時代だと思います。

みんながだんだんそういう気持ちになるような政策誘導をする。これから 15 年くらいの間にできるかどうかです。勇気のある政治家がそういうことを唱え、呼応する支持者が生まれてくるかということを、そろそろ本気で考えなくてはいけない時代なんだろうなあと思っております。毎週の日曜討論もそういう問題意識でやっております。今日はありがとうございました。

（記録：山崎光子・河合和郎）

話し手：池田ときえ
司会者：塩澤 迪夫



話し手プロフィール

絵手紙花の会講師として、20年以上
絵手紙の普及と実践に努めています。
生涯学習サロンの絵手紙講座も9回
を数え、参加される皆さんとの親交
が深まりました。

「さくらの絵手紙」とはいえ、まだ花にはひとあし早く、
染井吉野は手に入りませんが、春に先がけて咲く啓翁桜を
会場に飾りました。

毎年参加してくださるお顔なじみの方、「絵手紙は初めて
です」と緊張気味の方、大勢の皆さんのご期待にお応えし
たいと思い、今回は絵手紙仲間5人にお手伝いしていただき
ました。各テーブルに一人ずつ講師として付きましたか
ら、いつもより行き届いたお世話ができたかと思います。

① 見本の絵手紙をお見せして、技法を簡単に説明

絵の具や墨を使う遠景の表現は、線を使わず色だけで桜の雰囲気を出します。近景、手元の
桜の表現では、消しゴム印・桜の型抜きを使うなどの手軽な方法とその応用をご紹介しま
した。

一番簡単なのは、新聞や雑誌のきれいなグラビア写真を、手
でちぎって糊ではることです。よいバランスで仕上げれば、これ
も立派な絵手紙です。しっかり描きたい方は、桜の小枝を切り取
って写生してください。

墨で描くときは薄墨で、
淡い感じを出しましょ
う。鉛筆・ボールペンでも
いい線が描けます。桜の
色は、種類により濃淡さ
さまざまありますが、ここ
では薄めのやさしいピン
クにしましょうか。水を多めに使ってください。



会場に飾られた啓翁桜



② 実践　好きな見本を参考にして描いてみる

各テーブルの講師の助言を受けながら、いろいろな技法に挑戦します。手軽なせいか、消しゴム印や桜の型抜きに人気が集中。墨を塗ったはがきや黒い紙の上にゴム印を押したり、花を貼ると夜桜になります。どなたも熱心に取り組んで、何枚も仕上げていました。



③ 講評　みんなで眺めて楽しみましょう。

自慢の作品を並べて講評です。「自信がないから」と出さない方もいますが、せっかくの機会です、講師の親身なアドバイスを受けなくてはもったいないですよ。

どの作品も楽しそう、そして一生懸命描かれたことがわかります。絵手紙は誠意を贈るものですから、皆さん全員及第です。このお気持ちを大切に、これからも絵手紙を楽しんでください。

④ ティータイム　お疲れさまでした。

同じ苦労をしたテーブル仲間です。ケーキとコーヒーでお話が弾みます。「楽しかった!」「孫に送ります」「子供にかえって楽しみました」のご感想ありがとうございました。

また来年も元気でお会いしましょう　(記録：池田ときえ)



話し手：山口 三郎

司会者：浅川 文夫



話し手のプロフィール

1971 年国際協力事業団(JICA)入団。本部では主に社会開発、研修員受入事業等の分野に従事。在外ではアルゼンチン、ボリビア、メキシコ、エクアドルに合計 14 年在勤。通算 40 年間 JICA に在籍。

国際貢献や ODA (政府開発援助) と言ったテーマについては様々な角度からの切り口があり、当該国や当該地域の開発をどの様に進めて行くかと言う国別や地域別アプローチ、貧困問題や環境、気候変動の様な地球規模問題への対応と言う課題別アプローチ、或いは難民、紛争、人間の安全保障と言う点からのアプローチほかいろいろな内容が挙げられます。

今回は総括的なアプローチになりますが、以下のレジュメに沿ってお話しをします。

なぜ日本は開発途上国を援助するのでしょうか？

・純粋に人道的な貢献

開発教育の場で必ず出てくる、「もしも、地球に暮らす人が 100 人だとしたら」

- ◇開発途上国で暮らす人 82人（約56億人）
- ◇1日 2.5 ドル以下の貧しい生活を送っている人 17人（約12億人）
- ◇読み書きができない人 13人（約 9 億人）
- ◇5 歳まで生きられない人 8人（約 5 億人）
- ◇電気が使えない人 18人（約12億人）
- ◇十分な栄養を取れない人 12人（約 8 億人）
- ◇安全な飲料水が得られない人 11人（約 7 億人）

・相互依存の世界～ヒト、モノ、カネ、ソフトが自由に往来する今日において世界各国は相互に大きく依存。

- ・途上国の問題は世界の問題～途上国問題は途上国だけに留まらない、すぐに世界に跳ね返る。
- ・援助を受けた国としての日本の経験～経済発展に必要不可欠だったインフラは世界銀行からの支援で建設された。～黒部第四ダム、東海道新幹線、東名・名神高速道路等は本借入金。
- ・世界の中の日本の役割～世界の中の経済大国として、我々が想像する以上に大きな役割を担っている。

我が国の国際協力は実は地方が持つリソース、資源が大きな役割を担っている

例えば九各県を事例とすると、① 北九州市水道局によるカンボジアへの技術協力～地方自治体による技術協力が初めて民間ビジネスに展開～草の根技術協力から。② 大分県の一村一品運動の展開～地域おこし、村おこし、地域活性化の展開。③ フィリピンに対する鹿児島市と鹿児島大学による離島医療学の移転～フィリピン、鹿児島県ともに多くの島を有し離島医

療は極めて重要。④ 熊本県水俣市における反省と教訓から～アジア、中南米から行政官や技術者を受け入れ、ケーススタディーによる伝播。⑤ 長崎大学熱帯医学研究所～熱帯医学分野で WHO からも認定された我が国唯一の公的な研究機関。⑥ 北九州市環境局の技術移転～環境モデル都市福岡県北九州市の国際協力。

ちょっと楽しそうなお話～南米ボリビア編

- ① 世界で最も高い空港（標高 4,080m）から市の中心部へ。② 酸素の量は通常の 3 分の 2。
- ③ 随分厳しい勤務地ラパス。④ 懐の深いアメリカンスクール。

技術協力プロジェクト～興味ある事例

① シンガポール、インドネシア、ブラジルサンパウロ等への日本の交番（KOBAN）制度の定着（警察庁による ODA による展開が当該国の治安の維持や回復だけでなく、日本企業の進出と言ったブーメラン効果を生んできている）。



② 南米チリサケ養殖センター（ノルウェーと並んで日本への最大の輸出国となった我が国との技術協力）～サケはそもそも北半球にのみ生息する魚。今やチリのサケ養殖業は世界で 1～2 位を争うまでに成長、日本への最大の輸出国である。③ ブラジル農業に不適な地帯、セラード開発の経験を経て、日伯によるアフリカモザンビークへの三角協力～農業生産を支援・日系人の活用・連携（我が国との技術協力を得て今や大豆の生産量は 78,000 万トン、世界生産量の 28% を占める。セラード開発の結果、大豆の価格の安定化が言わされている。）④ 日本・セネガル職業訓練センター～従来型とは違った、プロジェクトの実施前にセネガル人技術者を本邦において、徹底した日本語研修。⑤ 職業訓練プロジェクトを通じた人材・技術者の育成～南南協力（先進国は北半球、後進国は南半球と言った概念があったが、北の技術移転を得て南が南に対して協力すると言った考え方。）。第三国研修はこの一環。例えばプロジェクト方式技術協力が終了し当該国への技術移転が完了したあと、今度は当該国自身がホストカントリーとなって、近隣諸国への技術移転を行うと言ったやり方。

戦略的な ODA の展開

これまでの ODA の実績をベースとして戦略的な経済協力の展開。新興国の成長を取り込むことで日本経済の活性化につなげる。

・ **2011.3. 11 への援助**～東日本大震災後、我が国は 160 か国、45 の国際機関から多額の支援金や緊急援助隊の派遣を受けました。これは大変な財産です。「この時こそお返しを」と言った友好国からの「なけなし」のお金をはたいての支援や貧困国から多数の支援があったことはつとに有名な話。

最後に①JICA の組織について。②援助の決定過程。③一部国会議員による ODA の利益供与問題。④中国に対する ODA の現状等についての質疑がなされた。（記録：山口三郎・橋本鋼二）

話し手：下山 邦夫

司会者：宮城 安子



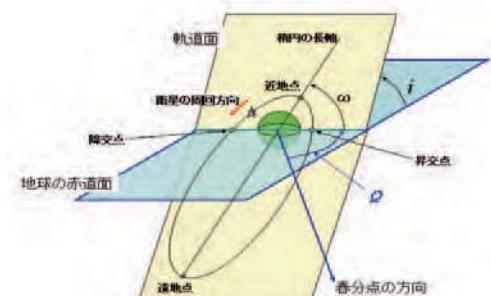
話し手プロフィール

1958年 応用物理系学科を卒業後オリンパス（株）入社。

カメラの開発設計、以後カメラ部門を歴任し、1997年取締役
カメラ事業部長で退職。

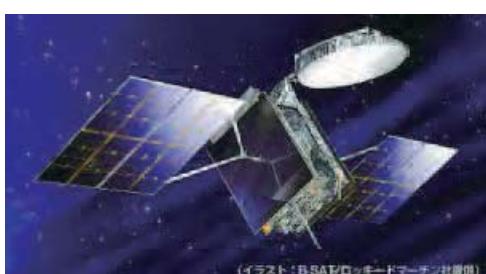
プロバスクラブでは八王子「宇宙の学校」を開校し、その運営
本部長を仰せつかって5年目となる。

最初に、JAXAが製作した【かぐやの宇宙見聞録】というアニメで、人工衛星の飛ぶ原理や、その軌道の種類（静止衛星や、太陽同期衛星の軌道の話）を見ました。



人工衛星の軌道画像検索より

赤道に対して傾きがなく（傾斜角0度）、かつ1日に1回地球を回るのが静止衛星です。通信放送衛星や気象観測衛星がその軌道を飛んでいます。赤道に直角方向（傾斜角90度）近くで、地球を極方向に回り、何時も太陽から同じ光を受けていて地球全体を観測できるのが、太陽同期衛星で、地球観測に使われます。傾斜角と周期で衛星の性質が決まります。



放送衛星の画像検索より

人工衛星が生活に役立つのを最初に感じさせたのは通信衛星でした。ケネディ大統領が、アポロ計画の大号令と併せて、世界中を通信衛星で結び、世界平和に貢献すると演説して、研究が進みました。日本とアメリカの通信衛星放送の第1回の実験放送はそのケネディ暗殺のニュースが飛び込んできた。劇的な出来事でした。



だいち2号画像検索結果より

軌道に乗ったのは通信衛星シンコム3号。この衛星で世界に最初に発信したのは東京オリンピック開会式でした。今では静止軌道に数多くの衛星が並び、ものすごい通信量を確保しています。続いて気象、地球観測衛星を見ました。気象衛星はひまわりです。昨年8号が揚って、今年から運用です。陸域観測衛星「だいち」も大活躍しています。

東日本大震災の時の被害状況の素早い把握などです。昨

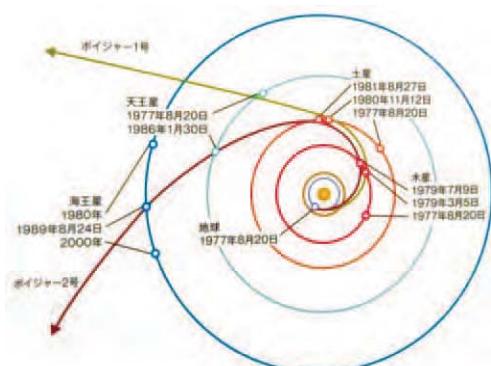
年「だいち2号」も揚りました。「しづく」は水循環観測で大きく貢献しています。



きく8号（JAXAレリースより）



スペースシャトルディスカバリーから見た
ハッブル宇宙望遠鏡（ウィキペディアより）



ボイジャーの旅、宇宙探査機
(フィリップ・セゲラ著・飛鳥新社) より



カッシーニが撮影した土星
NASA・パブリックドメイン画像

GPSのシステム（ナビゲーション）の原理を説明しました、その衛星は「ナブスター」。更に日本の準天頂衛星「みちびき」の面白い軌道の例を話しました。

幾つかの試験衛星の例も話しました。試験衛星「きく8号」は世界最大の静止衛星で、増大する移動体通信の需要にこたえる試験衛星です。

大きなアンテナで直接携帯電話と繋がります。

科学衛星としてハッブル宇宙望遠鏡による美しい画像や、X線望遠鏡「すざく」・電波望遠鏡衛星「はるか」の姿などを見ました。

ISSは1998年から2011年までかけて組み立てられ、飛行士が常駐して宇宙実験をしています。宇宙の微重力中での精密な実験が行われています。

探査機の話も出しました。月、太陽、金星、火星の探査機の例の次に、木星や土星、天王星、海王星を訪れたボイジャー1号2号の驚きの発見が続いた話、太陽系を出て、はるばる宇宙の旅に出ています。

土星の探査機はガリレオ・カッシーニ&ホイヘンス。カッシーニは周回機、ホイヘンスは衛星への着陸機です。カッシーニが送ってきた土星の画像には地球が映っています。



JAXA、小型宇宙探査機「はやぶさ2」より

はやぶさ2号は、2014年12月3日に打ち上げられ、順調に飛行中です。2020年の帰還が待ち遠しい気分でサロンを終えました。

(記録：下山 邦夫)

話し手：磯 洋一

司会者：久野久夫



話し手のプロフィール

八王子市役所に勤務、建築指導課長、下水道部長、そしてまちづくり計画部長を最後に定年退職。
社会福祉法人に4年間在籍、施設長・常務理事。
八王子南口再開発事業に従事

1. 八王子市内に多くの大規模戸建住宅団地が開発された経緯・経過

戦後の日本の住宅政策は、昭和25年に「住宅金融公庫」が、同26年に「公営住宅法」が、同30年に「日本住宅公団」が発足し三本柱が確立した。そして、高度経済成長政策や所得倍増計画が打ち出され、我が国の経済は飛躍的な発展の道を歩み始める。その結果、大都市圏を中心に都市人口・産業の集中が激しくなり、都市の過密・スプロール現象・それに伴う住宅難・通勤通学難・交通渋滞・地価の高騰などさまざまな問題が社会現象化していく。このような状況下で国は住宅不足を背景に住宅建設計画法を昭和41年に制定し、8期にわたり住宅建設5箇年計画を発表した。

このような時代の流れに、さらに核家族化や団塊の世代の結婚適齢期が相まって、特に都市部周辺の住宅需要は飛躍的に伸びた。また、高度経済成長期東京都区部では深刻な住宅難に伴って地価が著しく上昇してしまった。その当時、八王子地域はまだ地価が安く住宅団地開発に適した丘陵や農地が多く存在していたこと、そして、八王子は都心から西に40kmという地理的立地や、JR中央線・京王線などの軌道系そして中央自動車道の開通によるアクセスの良さからベットタウン化が進んだ。

2. 高齢化が進む大規模団地の現状

(1) 各団地の年代別人口及び構成率

多くの団地の中から、めじろ台団地、南陽台団地、松子舞団地、宝生寺団地、みつい台団地の5団地について、平成26年12月末現在の市で集計した住民基本台帳による3世代別人口で、古い団地ほど65歳以上の構成率が高く、ほとんどが40%を超えていました。

(2) 調査対象5団地の現状

各団地の高齢化率は表の通りですが、次の段が4年9か月前からの高齢化の伸びを示した数字です。これを1年間の伸びに計算し直すと、めじろ台が0.88%、南陽台が1.63%、松子

舞が 1.58%、宝生寺が 2 %、みつい台が 0.8%となります。

もしこのままの上昇率が続くとしますと、松子舞は 2 年後に、南陽台は 3 年後に、宝生寺が 4

年後に、それぞれ高齢化率

が 50% を越えてしまいます。

以下 4 段目以降が生活利便施設の状況ですが、本来これらに銀行、郵便局、病院、診療所なども大いに関係するのですが今回は時間の関係で省略しました。

表の下の 2 段は空家率・空地率ですが、これが多くなりますと地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしてしまします。

①街並みの景観が悪化する。
②火災の発生を誘発する防災機能の低下。③防犯機能

の低下。④ごみなどの不法投棄等を誘発。⑤悪臭など衛生面の悪化。これらの要因により土地所有者にとって、資産価値の著しい低下が懸念されこととなります。

3. 多くの社会資本投資がなされたこれらの団地の今後は？

大規模戸建住宅団地の多さは他に類を見ない八王子市の特色で、優良な既存ストックが今も存在しているこれらの団地の再生がスムーズにいかず、過疎化・荒廃してしまったら、市域全体のまちのイメージダウンが懸念される。

そこで、各団地の現在の人口構成となっている「子育て一子供の独立一退職」このサイクルに、今後は居住者の入れ替わりとして「流動性」を加え、更に、生活に必要な都市施設や生活利便施設の見直しが必要ではないかと考える。

従って、例えば「土地・建物等取引のための情報バンク制度」や、国土交通省が言うところの「エリアマネジメント」など等、地域住民、土地所有者、事業者が主体となり創意・工夫をし、まちの賑わいを維持するために、また、行政もインセンティブをもちらながら協調し合って、新たな仕組みを作り、解決していくことが望まれる。（記録：磯 洋一）



話し手：立川富美代
司会者：大高 秀夫



話し手のプロフィール

全日本プロバス協議会副会長
ガールスカウト八王子連合会会長
八王子市青少年育成団体連絡協議会会長
N P O 法人八王子市体育協会副会長 他
ライフワークとして青少年の育成 45 年以上努める。
毎年当サロンでこの講座を担当し、今回は 16 回目。

シェーン

原題 (S H A N E)

1953 年 アメリカ映画 西部劇
監督 ジョージ・スチーブンス
音楽 ヴィクター・ヤング
出演 アラン・ラッド、ヴァン・ヘフリン、
ジーン・アーサー、ブランドン・デ・ワイルド



解説

西部劇史上、十指に数えられることに異論はないであろう傑作。緑麗しいワイオミングの高原地帯。縁あって開拓移民のスターレット（ヴァン・ヘフリン）一家に厄介になる、旅人シェーン（アラン・ラッド）。折しも、この地では開拓移民と牧畜業者の間で土地をめぐる争いが起こっていた。やがて、スターレット一家にもその騒動が飛び火して来た時、世話を受けていたシェーンは、彼らの間に割って入って行く……。



西部の股旅物としてはまことにオーソドックスな展開であるが、風景描写・人物

描写共に丹念にかつリアルな演出で、あくまで子供の視点から物語を作り上げて、英雄と人情を融合させている。ワイオミングの美しい山間風景の中にキャラクターを確実にとらえている。そして主題曲「遙かなる山の呼び声」の余韻も忘



れがたい、調べの数々。



主役のアラン・ラッドはそれまではパットしていなかった俳優ながら、素晴らしい演技を見せ、その早撃ちのシーンは観客に永遠に記憶をされるだろう。

この映画の語り手でもある少年ジョーイ（B・D・ワイルド）も適役。優れた西部劇は多数あるが、ここまで多くの人に愛された作品は少ない。

カムバック・シェーン！！の声は主題歌とともに何時

までも耳に残っている。

最近は CG を多く使い、早いテンポの映画の多い中、ゆっくりと時間が過ぎて行く……。



16回目にして初めての西部劇を楽しんで頂きたい。

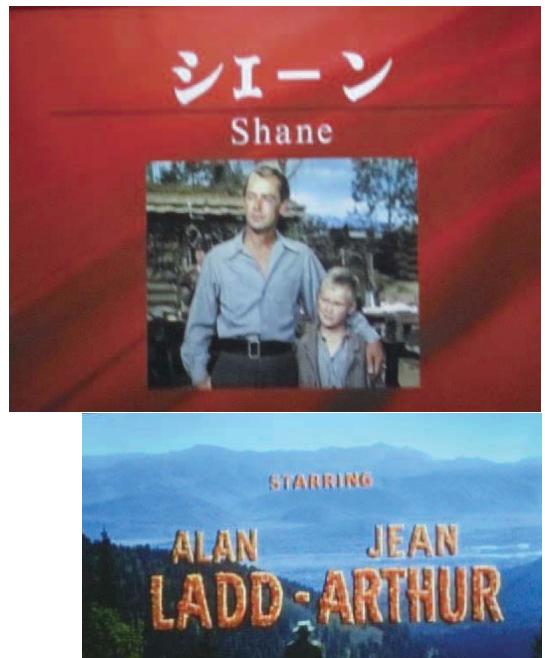


音 楽

主題歌はヴィクター・ヤング（1900～1956）

遥かなる山の呼び声 原名 The call of the far away hills

V・ヤングは映画音楽の神さまとも言われるくらい映画の名曲を残している。



シェーン、80日間世界一周、風と共に去りぬ、喝采、静かなる男 サムソンとデリラ、など、数えきれないほどの名曲を作った。

シェーンの主題歌「遥かなる山の呼び声」は、映画封切りと共に、日本では「雪村いづみ」が日本語で歌いミリオンセラーとなる。

(立川富美代)

話し手：田中 信昭

司会者：馬場 征彦



話し手のプロフィール

1940年 大阪生まれ、八王子在住 18年目

2004年 旭化成専務取締役を退任するまで
生産技術本部長、水島製造所長、延岡支社長、
情報システム会社社長等を経験。
退任後は専ら趣味に没頭。

(サロンの進め方と概要)

参加の皆さん全員で日常見掛けるプラスチック製品を思いつくままに挙げ、如何に生活の中にプラスチックが入り込んでいるかを再認識した。サロン形式で話し合う中から、プラスチックとはどんなものなのか、どうやって作られるのか、余りにも便利に使われた後は一体どうなっているのか、我々が日常でやれることはないかを考えた。

- ・河原の芦に絡むゴミ袋
- ・海岸に漂着するプラスチック
- ・中々消えない厄介なゴミ！
- ・日常の至る所で溢れるプラスチック、軽くて安くて水を通さなくて、便利この上ないが、その反面、かさ張り一寸始末に困る。ゴミの日に廃プラとして市の後処理へ。
- ・話し手は主に石油化学コンビナートを中心にモノづくり現場を長く経験、その経験を通して、それまで自然界には無かったプラスチックという人造物を概説。貴重な資源としての石油、それから作られるプラスチックの魅力に迫り、厄介なゴミという印象から“おさらば”するために日常家庭でできることはないかを参加者みんなで考えてみた。

1) プラスチックとは

- ・(日常見掛ける例えばこんなもの、)
- ・(天然) 樹脂：松やに、琥珀（ジュラシックパークの話）水に溶けない。
- ・合成した高分子化合物から成り、一定の状態のもとで可塑性を示す物質（元々天然には無かった！）
- ・熱可塑性樹脂：ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレン・・
- ・熱硬化性樹脂：フェノール樹脂（ベークライト）、尿素樹脂、メラミン樹脂（デコラ）・・

2) 石油化学コンビナート

- ・夜景の美しさ人気
- ・原油（分解、合成）中間原料（重合）中間製品（成型加工）製品

3) プラスチックはどのように使われているか

- ・産業用（自動車、船舶、鉄道車両、家電、電子部品、その他機械）
- ・住宅、建材用

- ・農水産業用・医療用・日用品、雑貨用・包装、容器用（フィルム、ケース、ボトル…）
- ・1980年頃、スーパーのポリ袋（紙袋からの転換、世界に先駆けて日本の市場から）

4) プラスチック製品の製造方法の例

- | | |
|---------------------|------------|
| ・フィルム：インフレーション、テンター | ・ボトル：ブロー |
| ・成型品：インジェクション | ・容器：シート、圧縮 |

5) 廃棄物としてのプラスチック

- ・「分解しにくい」：利用上の利点、廃棄上の不利点（問題点）
- ・3R；Reduce（発生抑制）Reuse（再使用）Recycle（再資源化）
- ・廃プラの発生量（日本）：約900万トン／年（内約700万トン／年がリサイクル）
- ・家電リサイクルの例
- ・PETボトルの例

6) 八王子市プラスチック資源化センター

- ・戸吹清掃工場 焼却炉 300トン／日
発電設備2,080kw 焼却灰 エコセメントへ 戸吹湯ったり館へ蒸気供給
- ・年間ごみ処理量：72,900トン

・プラスチック資源化センター

（平成22年10月1日オープン）資源物として収集した容器包装プラスチック、PETボトルを選別し、圧縮梱包してリサイクル原料として出荷する施設。処理量：容器包装プラスチック40トン／日、PETボトル12トン／日

=>再商品化事業者（再加工されてプランター、杭、パレット等の成型品へ）

- ・廃PETボトル1梱包200kgから、新PETボトル5,700本ができる。VOC除去装置、集塵脱臭装置

（問題点）異物・不適物の手選別（多くの混入した異物を人が選別除去、ex注射器！）、経済性

7) 分別の大切さ、せめて家庭で日常できる努力；

- ①廃プラ量を削減する。②異物・汚れたものを混入しない。③分別ルールを徹底する。

（最後に）話し手の強い思い；

「貴重な石油資源をいきなり燃料として燃やしてしまって良いのか。少なくとも物質商品としての役割を果たしてから最後にエネルギーとして燃焼利用すべきではないか。」

（Q&A）

冒頭から参加者の皆様と共に考えて行くサロンとして、対話形式で進められたが、最後にも「自動車へのプラの具体的適応事例」や「燃やせばダイオキシン等有害物質を排出することになるのだからやはり削減努力を続けて行かなければならないのではないか」「鉄との住み分けの歴史」等多くの質疑応答がなされ、会場が一つになってプラスチックを考える機会となった。

（記録：田中信昭）

話し手：宮崎 浩平

司会者：野口 浩平



話し手のプロフィール

八王子生れ、八王子育ちの生粋の八王子っ子。
日立キャピタル株式会社に入社し、各地の支店長を歴任。
東京営業本部営業部長を経て参与に就任。
平成8年定年退職の翌年、プロバスクラブに入会。
平成19年度八王子プロバスクラブ第12代会長。
平成22年 八王子プロバスクラブ15周年記念事業実行委員長。

近世江戸時代の八王子町を歩く

八王子の町が甲州街道に沿って現在の地に造られたのはそう古いことではない。天正18年(1590)、八王子城の落城後、近世に入り、現在の町に宿越が行われた。横山、八日市、八幡の宿を甲州路と鎌倉街道の交差する「横山の地」に移したことに始まる。当初は江戸の西の守りとして、軍事的な側面が大きな役目であったが、江戸時代に入り甲州道の宿駅と六斎市を中心に、周辺村落の交易の場としての経済的な役目が中心となった。

1. 八王子15宿

八王子宿は横山宿、八日市宿、八幡宿、八木宿、久保宿、島の坊宿、横町宿、本宿、本郷宿、寺町宿、馬乗宿、小門宿、上野原宿、子安宿、新町宿の計15宿の総称。浅川南岸の横山と呼ばれる地に、横山、八日市、八幡の3宿を元八王子村より移し、さらに八木宿を加え、甲州道の宿駅として整備、甲州道に沿って東から横山、八日市、八幡、八木の順に町屋が並んだ。

その後街道の繁栄に伴い、他の12宿を組み入れた。八木宿西側の千人町、横山宿の外、新町に木戸があり、他の宿は後背にあった。15宿の西に続く千人町地内には甲州道と恩方面へ至る往還の追分があり、また八幡宿の地内からは横町宿を経て、八王子日光往還が発する。横山宿、八日市宿両宿は本宿であり、両宿は甲州道中御伝馬役隔月に相勤めた。

「元禄15年八王子横山宿村鑑」よれば、15宿総家数784軒、内横山、八日市両宿289軒、八幡宿76軒、八木宿65軒。天保年間の15宿総家数1,548軒、人口数6,026人、本陣2軒、脇本陣4軒、旅籠屋345軒、人馬継問屋場2カ所、常備人馬25人25匹、うち廻人馬5人5匹(宿村大概帳)。助郷村々は、天保年間に設置されたと云われ、宝暦12年定助郷12カ村、加助郷20カ村計32カ村9,467石余。「15組村鑑/石川家文書」。明治元年神奈川県、同11年南多摩郡に所属、15年町村合により、周辺諸村とともに八王子町となる。

2. 八王子宿の六斎市

近世において、月の中6回開かれる定期市を六斎市と云う。八王子町の宿越後、横山宿、八日市宿を母宿として、横山宿は4日、14日、24日、八日市宿は8日、18日、28日に市が立った。宿の中を三分割し、月3回の市が異なった場所に開設された。市の特権が与えられたかわ

りに運上金を納めさせられた。

一方、八幡宿や八木宿は市の開催を試み、長い間抗争が行われたが、市の開催は認められなかつた。貞享 3 年(1986)の「市座割井起請文連印」(新野家文書)は横山宿、八日市宿の市座の場所割を記している。貞享年間(1684～1688)の頃の市場の模様は、紬座、高見世座、紙座、麻壳座、織綿座、太物座、穀座、肴塩座、薪・竹長木座の九座より成了。このうち、薪・竹長木座は 4 日場 1 回だけ設けた。横山宿、八日市宿は市開設の特権を与えられたことに対して、一年間、永 15 貫文(15 両)の運上金を納めた。

その負担方法は小間割で市の立つ表通りの家主達に賦課された。表通りの家屋は大体 4 間間口に均等に分割保有されていたから、一軒当たりの運上額は約 75 文であった。表通りの家、屋敷の保有者は市運上金を負担した代わりに、市出の諸商人が支払う市場錢を取得した。諸商人は一定の市場錢を宿役人に支払う。一年間の総計額から運上金と宿場維持費を差し引き、残額は間口に応じて、表通りの家、屋敷の保有者に配分された。市の開設権は宿場にとっても、魅力のあるものであった。

3. 八王子町の祭。

八王子の町には、古くから伝承されてきた「祭」がある。それは「下のまつり」「上のまつり」と分かれて引き継がれてきた。

八幡・八雲神社のまつり（下の祭）

例祭日は八幡神社が 9 月 15 日、八雲神社は 7 月 23 日、24 日に行われ、八雲神社の祭礼は「下のまつり」として親しまれてきた。八雲神社の御神体は牛頭天王という疫病除けの疫神であり、京都の祇園祭と同じ牛頭信仰より始まっている。現在は素盞鳴尊に習合し、祭神として奉られている。また、この牛頭天王は八王子の名前の由来として、8 人の王子の父親と云われている。

多賀神社のまつり（上の祭）

多賀神社と呼ばれていたが、明治時代のはじめ多賀神社になった。当初は散田の地にあって、祭神はいざなぎのみこと、いざなみのみことである。現在の地に移り、鎌倉時代に北条時頼が詣でたと云われている。例祭日は 8 月 15 日、16 日。

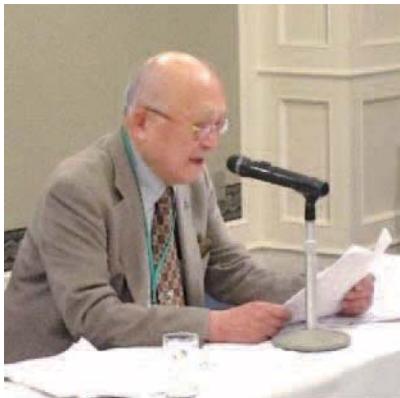
4. 八王子宿の飯盛女

江戸時代、旅人は米を自分で持ち、宿について釜を借りて米を炊き、薪代として木賃だけを支払う素朴なものであった。木賃宿はやがて食事も出す旅籠屋となつたが、文化、文政(19 世紀前半)頃、どの旅籠屋も屋号を書いた行燈を店先に掲げ、酒を出すように変わってきた。あげくは、飯盛女という遊女をおいて客を誘う店も生まれてきた。幕府は宿駅において、一部の飯盛旅籠に「1 軒 2 人」と定めた。

八王子宿は宝暦年間(1751～64)に飯盛旅籠が公認許可され、飯盛女が登場、公には給仕女と認められていたが実質的には売女であった。文政 5 年(1822)には旅籠屋、飯盛女が検挙されたこともあったが、翌年には従来通りの飯盛女が復活している。文政 7 年(1824)の大火後、不振続きの 4 日場は振興策として、甲州道に散在している飯盛旅籠を 4 日場に集めた。明治時代の初期には飯盛旅籠は貸座敷と名を改め、明治 26 年(1893)新万火事により移転計画がなされ、明治 30 年(1897)の大火により、蒲田の新地に移り田町遊郭が造られた。 (記録：宮崎浩平)

話し手：石田雅己

司会者：澤渡 進



話し手のプロフィール

都立府中病院産婦人科医長、新宿赤十字病院第一産科部長、八王子保健所長を歴任。
現在介護老人保健施設顧問、日本思春期学会認定思春期保健相談士、日本性科学会認定セックスセラピスト、日本性科学会セクシュアリティ研究会に所属。

私の所属する研究会では、40代から70代までの中高年男女の性行動や関係性について、既婚者、単身者別の調査を、1999年～2000年、2002年～2003年、2011年～2012年の3回実施した。このサロンにおいては、パートIで、老いについて心身両面から考え、パートIIでは、2000年調査を基に解説し、パートIIIでは、現在単身者の心と身体につき、2003年を基に比較検討した。

今回の調査では1,162人からの回答を得たので、その結果を表（サロン開催時に配布）にまとめた資料を参考に、パートIVとしてお話しする。

1. 結婚平均年数（平均年齢）（表1）女性の晩婚化がみられる。
2. 見合い結婚、恋愛結婚の別（表2）

40歳代から60歳代はこの12年間で恋愛結婚が増加、1960年以降の生まれとなる40代から50代の人達は80～90%が恋愛結婚である。2012年調査の70代は小学校時代に第二次大戦を経験した年代であるが、成長期に戦後教育を受け男女の関係性が開放的となった。そのためか現在70代の人が結婚年齢となった1960年代には、見合い結婚と恋愛結婚の比率がクロスし、これ以降は恋愛結婚が増加している。

3. 夫婦の関係性（表3-1・表3-2）

結婚生活満足度は男女とも満足していない群が、男性は50代、女性は60代で有意に増加している。夫の定年以後、家庭で共に過ごす時間が多くなつた時期に夫婦関係の見直しや再構築が必要であるが、それが充分でなかつたり、年金生活など、経済的な問題もかかわっていよう。さらには、加齢による体力の低下と共に精神的にも、意欲が低下したためとも考えられよう。

今回の調査の最大の特徴は、それを反映してか、夫婦間で「この1年間、性交渉が全く無い」としたのは、男性の40歳代で34%、50歳代で53%であり、2000年調査のそれぞれ7%、16%から大幅に増加した。女性も40歳代で10%が30%に、50歳代23%が53%に増加した。60歳代70歳代でも同様に増えたが、増加割合が小さかつた。単身者では変化がなかった。その背景を考えてみると、配偶者以外の異性と親密な付き合いがあつた男性は32%、女性は14%と2000

年調査のそれぞれ 11%、5%から増加している。「性的な関係があっても、家族に迷惑がかからなければ構わない」と答えた割合は、男性は 17%が 33%に、女性は 6%が 14%に倍増した。さらに、「配偶者への愛情なし」「どちらかと言えばなし」の回答が男性は、40 代、50 代で 3 倍に、女性は 40 代で 2 倍になり、実行するかどうかは別として、精神的に、「夫一筋」「妻一筋」ではない社会情勢が一般化してきたと思われる。

夫婦の日常会話についても、会話が少ないと感じている割合が増加傾向にある。女性の就労増加による生活の変化が大きいためであろうか。70 代以降、家庭で過ごす時間が多くなり夫婦での会話が多くなる傾向が見られるが、高齢ため会話が成り立たなくなる場合も考えられよう。

離婚願望も男女同様に増加しているが、質的にはかなりの隔たりがあると思われる。40 代では特に女性に有意な増加がみられる。70 代でも男女とも増加しており、気になるところである。

配偶者以外の異性への関心は、男性ではどの年代においても有意に増加しており、70 代でも 40% を越している。女性は、50 代で有意に増加しているが、20% 以下である。男女差が大きいが「惹かれる」をどのように捉えるかで差が出たのであろうか。異性との付き合いは、男性はどの世代においても 30% 前後、女性は 10% 前後であり男女差が大きい。

男女共に配偶者との関係で求める交流のベスト 3 は、「家族の事を相談しあう」、「日常的会話」、「外出・趣味などを共にする」であり、良好な関係性を維持するためにベースとなる大切な事柄であろう。

21 世紀の日本は、女性の社会進出の法的裏付けが確立し、「妻」は家の奥にいる「家内」でも「奥さん」でもなく社会で平等に働く事が可能になり、それによって夫婦の対等な関係性が生まれ、発言力が高まった。心身ともに健全な家庭を築くには、イコールパートナーとして共にセクシュアリティを尊重する事が大切である。 (記録：石田雅巳・東山 榮)



話し手：馬場 征彦

司会者：田中 信昭



話し手のプロフィール

1938年 台湾生まれ。1978年から八王子在住。

1962年 NEC入社、以降コンピュータの開発・設計、通信ネットワーク事業等に従事、常務取締役で退任。

2002年 NECネットSI（1部上場）に移り、社長・顧問を経て2007年に退任。会社生活を終えた後は、OB生活をエンジョイしている。
2010年からプロバスクラブ会員。

1：テーマの趣旨

「アナログ」とか「デジタル」という言葉は日常的によく耳にしますが、その言葉の概念は必ずしも明確ではありません。それは、「アナログ」はまだしも「デジタル」については、その意味する領域が時間と共に拡大し続けているからでしょう。

本講座は、拡大し続ける「デジタル」の概念について、考えようとするものです。

2：話の概要

1) 現在の定義の紹介（「広辞苑（第6版）」）

- ・アナログ；①ある量またはデータを、連続的に変化しうる物理量（電圧・電流など）で表現すること。②比喩的に、物事を割り切って考えないこと。また、電子機器の使用が苦手なこと。「アナログ人間」
- ・デジタル；ある量またはデータを、有限桁の数字列（例えば2進数）として表現すること。

2) アナログ、デジタルの具体例を列举してみると

- ・表示法；アナログやデジタルの時計、体重計、温度計等がある。
- ・アナログ人間やデジタル人間などのイメージに使われるケースもある。
- ・デジタル製品・商品が続々と登場、一方では旧来のソロバンもデジタル計算器。

3) デジタル技術の登場によって、デジタルの概念は大幅に拡大している。

- ・デジタルコンピュータ、デジタル携帯電話、デジタル放送、デジタルカメラ等の例。
- ・CD、DVD、USBメモリ等⇒対応するアナログ品は衰退
- ・デジタル（新聞・図書館・博物館・植物園）等。

4) 新しい定義の試み（従来の定義に加えて）

- ・アナログ；自然界の神羅万象は大宇宙を含めて、全てアナログ状態で存在する。そのため、人間の五感はアナログ情報として認識する。
- ・デジタル；デジタルとは、（広義の）コンピュータ上に展開されるバーチャルな世界のことである。それを利用した商品がデジタル機器である。

5) デジタル技術の特徴

- ・ノイズに強く、データの再現性に優れる
- ・エラーの検出がほぼ可能、かつエラー訂正能
力大
- ・半導体の高速化・高集積化との親和性大（ムーアの法則の紹介）
- ・情報の圧縮、復元が可能
- ・情報の暗号化が可能
- ・標準化、ルール化が容易
- ・コピーによる劣化が少ない
- ・通信の高速化、大容量化が可能、等。

6) デジタル技術の基本要素

- ・広義のコンピュータ
- ・アナログ ⇄ デジタルの変換機能
- ・2進数
- ・符号化、量子化
- ・信号の同期化（ビット同期、ブロック同期）

7) 音のデジタル化

- ・音波に関する標本化定理（シャノンの定理）の紹介
- ・符号化と量子化の実際例
- ・PCM(Pulse Code Modulation)の説明
- ・デジタル化の実例(LPCM, MP3, WMA, ALAC)

8) 映像（画像）のデジタル化

- ・デジタル化で必要な諸元；光の3原色（色の3原色との差）とそのデジタル表現法、画素（ピクセル）、ドットマトリックス・ディスプレイ、画面の解像度（色々な規格あり）、アスペクト比（画面の横と縦の比）、（大きさ、視野、3D⇒講演でも省略）
- ・デジタル映像の記録媒体；CD（0.7GB）、DVD（4.7GB）、ブルーレイ・ディスク（25GB, 50GB）と概略記録時間（略）



9) デジタル技術の粋（光通信の例）

- ・虹の色についての話題を紹介（国による差、ニュートンが7色と提案したこと等）

・最新の光通信技術；赤外線領域の100～500色相当の電磁波を駆使して、高速通信を実現している。200Ghz近傍の赤外線を用いて、1波（レーザー光）当たり10～40Gbpsのデジタル信号を乗せる。送信側では100～500波を合波器でアナログ的に合成し纏めて1本の光ファイバーに乗せ、受信側では分波器で（プリズム分光のように）100～500波に分けて各波からデジタル信号を抽出する。1本の光ファイバーで1～20Tbpsの情報伝送が可能となる。

10) まとめ

- ・デジタル技術を用いた製品は今後も拡大し、デジタル領域は拡大し続けるだろう。
- ・それでもなお、本稿の“デジタルの新定義”は生き続けると思われる。
- ・大規模アーカイブ（国の公文書館、電子図書館、等）の可能性があるが、一方で媒体の寿命、容量には大きな課題があり、デジタル・ジレンマも存在する。

11) 質疑応答；5名（内3名はサロン会員）の方から10件を超える質問を頂き、活発なやり取りが出来たのではないかと思います。

（記録：馬場 征彦）

話し手：橋本 鋼二
司会者：河合 和郎

話し手プロフィール

農林水産省の研究機関で稲、大豆などの試験研究や研究・管理に従事、平成6年北陸農業試験場長を最後に定年退職。その後パラグアイで国際協力事業団（JICA）が実施する技術協力プロジェクトのリーダーなどを務める。海外での研究・調査・指導は通算6年8ヶ月。大豆の研究で農学博士。

平成17年に叙勲（瑞宝小綬章）

戦後の食の歴史ー日本人の食生活の変化は大きいー

①「飢餓からの脱出」（貧食）時代＝敗戦後の10年、②「米欲求の充足」（和食改良型飽食）時代（1955～65）、③「栄養欲求の充足」（近代飽食、近代和食の形成）時代（1965～85）、④「欲求の高度化・多様化とひずみの顕在化」（現代飽食）時代1985～

米の消費減と畜産物や油脂などの消費増加が特徴的。

どの程度国内で生産しているかー食料自給率とはー

国内の食料消費が国内の農業生産でどの程度賄えているかを示す指標で ①カロリーベース、②金額ベース、③穀物あるいは品目別などがある。過去半世紀日本は自給率が顕著に低下し、90年代まで長期低落後低迷を続けている。2013年はカロリーベースで39%、本年2025年までに45%と目標を5ポイント下げた。品目別では小麦や大豆製品、畜産物などの自給率が低い。生産額ベースでは65%。

食生活の変化が自給率の低下を加速

①所得水準によって食料の消費パターンが変る、②ある程度所得水準が上がると、植物性食品の消費は伸びず、畜産物の消費が増える、③畜産物は多くの穀物などを消費して生産されるため、所得水準の高い先進国は穀物換算すると、一人あたりで開発途上国の3～5倍も多く穀物を消費、④日本国内の畜産物生産は、飼料用穀物の大部分を輸入に頼っている。

現在の食生活を前提に自給するには国内農地面積の約3.5倍必要。

地球環境問題で著名なレスター・ブラウンの指摘から

ジャパンシンドローム：基本的に穀物の自給を行っていた国が、数十年以内に穀物消費の7割以上輸入するようになった国として日本を挙げ、「ジャパンシンドローム」と表現し、遅れて韓国、台湾も同様に穀物消費の多くを輸入するようになったと指摘、人口の多い中国が穀物輸入大国になると懸念している。

人口増加と経済発展が食糧生産力を脅かす：①世界の人口は70億を越え、毎年世界で7千万

人増加の現状、②人口 100 万人増加→基本的生活空間 4 万ヘクタール必要→年々 300 万ヘクタールの土地が必要（つぶされる土地の多くは都市周辺の良好な農地）、③車が 100 万台増えるごとに 2 万ヘクタールの土地を舗装する必要→インドや中国をはじめとする発展途上国での車の急増、④過放牧による砂漠化の加速。

世界各地で見られる農産物の生産条件悪化—深刻になる「水不足」—：①地下水の枯渇、地下水をくみ上げに頼る灌漑農業の限界、破綻（化石地下水層の枯渇）、②世界の大河川で始まっている「断流」（黄河、ガンジス川など）、水争い（メコン河、ナイル川など）

世界の食糧需給を決める要因

①需要増加要因：人口増加、所得の上昇に伴う 1 人あたり穀物消費量の拡大、中国などの経済発展、バイオ燃料など、②供給に影響する要因：収穫面積の動向、単位面積あたりの収量、③供給を妨げる要因：地球規模の気候変動（温暖化、異常気象）、水不足、家畜の病害

近年まで生産を押し上げてきた要因と今後の予測→大幅に増やすのは困難：①生産量の増加の主因は単収の増加で、収穫面積の増加は少なく 1 人あたりの収穫面積の減少が続く。②単収の大幅増加を支えてきた技術の限界、灌漑面積拡大の困難などから増加速度は減速している。

主要農産物の国際価格の動向と近年の価格変動と推移の予測

①食料の国際価格は高値圏で推移する見通し、②中国などの経済発展の進む諸国で農地面積の減少や食料消費のパターンの変化から輸入量が増加し、日本と重なる輸入食料での競合（大豆、食肉、高級食材など）もみられる。

先進国の飽食と途上国の飢餓

①主要食料（穀物、肉類）を輸出できる国、必要量を輸入できる経済力を持った国は限られている。②途上国の栄養不足人口を 2015 年までに 4.1 億人に減らす世界食糧サミット（1996 年）の目標達成は極めて困難で、増加を抑えるのに精一杯。貧しい人、女性、子供ほど影響を受けている実情。③FAO（国際連合食糧農業機関）は栄養不足の地域や国を“hunger map 2014”として公開している。④2008 年にアフリカ・アジア・中米で食料品価格の高騰が引き金となった暴動などが発生した。

明日の世界を考えた、日本のフード・セキュリティのための施策が必要

グローバル・セキュリティをめざして：①フード・セキュリティはグローバル・セキュリティに不可欠、②食料価格の不安定な高騰の回避をめざす国際協力の必要性、③農業、エネルギー、人口、水利用、農地保全、土壤保全分野でのセキュリティ確立を促す政策

私たちの出来ること：①旬のものを選ぶ、②地元の食材を大事に、③米、大豆、野菜をたっぷり使ったバランスの良い食事、④食べ残して捨てる量を減らす、⑤食料自給、フード・セキュリティの理解と協力、⑥エネルギー多消費型の生活習慣を変える。

質問をめぐって話題にしたこと

人類の将来は？過疎と過密、耕作をしていない土地が増えているのでは？和食の国際化や大豆食品の普及などが話題となった。
(記録：橋本鋼二)

話し手：土井 俊雄

司会者：吉田 信夫



話し手プロフィール

教科書出版社（帝国書院）。リコー教育機器に転職、本部第一・第四営業部長・大阪支店長、系列販社社長

「ヨーロッパ中世の気候変動とジャガいも飢饉」について

国内および世界各地で自然災害が多発しています。一旦襲われたら、壊滅的な破壊力により立ち直りは容易ではない。阪神淡路大震災、東日本大震災、新潟・長野県境地震、紀伊半島台風水害、西日本(特に九州)豪雨などなど数え上げたらきりがない。太古の昔からこのような試練を受けながら、努力と忍耐力で克服してきた。しかし東日本大震災は、原子力発電所の崩壊により、今までの災害とはまるきり勝手が違う泥沼に入っている。一日も早い復興を願ってやまない。

さてこのような状況の中で、アメリカの人類学者ブライアン・フェイガンの気候変動に関する書物を読み大いに興味をそそられた。この分野での知識は皆無に等しいが、自分で感じたことを皆さんに伝えたいというおせっかい心に動かされ、話をすることにした。ジャガいも飢饉の話は、中世ヨーロッパの気象条件を、予備知識を持ってないと分かりにくいと思い前段で気象のお話をしたが、やはり危惧したように退屈感を与えてしまったと反省している。気象の話は割愛し、ケルト文化を中心にすえた話にした方が良かったような気もしたが、それでは本末転倒になると思い、気を引き締めてお話をした。

私が思うには日常の天気は、誰でも関心を持っているが、それを起す気象条件については難しいので深く考えずにおこうというのが一般的と思える。「気象とは」の定義から始まり、地球と太陽熱放射との間（大気）で気象現象が起こる範囲は地表から上空 80km で地表から対流圏・成層圏・中間圏・熱圏と命名されていること。この層があることにより、地球の表面温度が平均 15°C で保温され、この層が無ければ -20°C となり人類の生存にとって厳しい状態になるといわれていること。また地球の 7 割を占める海洋と河川・湖・沼・地中・動植物に含まれる水が気象に大きく作用すること。とりわけ海洋のグローバルコンベアベルトと呼ばれる大海流は、海水の表層で起こる風成循環と海洋数百メートル下の流れである熱塩循環が極に近い冷たい海流の場所で交互に捩じながら流れながら大量の海水は、海底下にもぐり海水の温度を一定に保つ働きをすること。海底に潜りこんだ熱塩循環は元の位置に風成循環として戻るには、なんと 1200 年の歳月がかかること、まさに神秘的である。

また火山活動（噴火）が気象に大きな影響を及ぼすこと。日本では、浅間山の噴火による、天明の大飢饉、外国では、良く知られているイタリアのベスビオ火山の噴火でポンペイやヘルクラネウムの町が火山灰や火碎流により全滅したこと。火山大国インドネシアでは大型の火山

噴火が絶え間なく続いていること。等を学習した。アイルランドで起きた「ジャガイも飢饉」については、まずアイルランドの歴史概要からお話をした。西暦紀元前ヨーロッパのほぼ全域に中央アジア方面より、インドヨーロッパ語族のケルト人が大挙して馬にひかせた 2 輪車や戦車で襲来し、ケルト族が多く分派をつくって大いなる勢力となった。ヨーロッパにおける原住民といわれる所以である。彼らはドルイド教を信奉しており、アニミズム独特の自然崇拜（櫻の木を神木としていた）であった。

西暦 100 年前後に古代ローマ帝国初代皇帝ユリウス・カエサルが大軍で押し寄せてきて、ヨーロッパからケルト族を追い出しました。ケルト族は辺境の地にやむなく移住した。スペインのガルシア地方、フランスのブルターニュ地方、スコットランド北辺地方、ウェールズ西端地方、アイルランド（現在の北アイルランドとアイルランドの国境地帯）では、話し言葉だけで、文字を持たない。信仰上のこととされている（セントパトリックの教義を文字にしたら恐れ多いという理由のようだ）。イングランドの、オリヴァー・クロムウェルの侵略によりアイルランドは壊滅的な被害を受けた。絶対主義下でイングランドの植民地第 1 号だった。アイルランドは、イングランドにより 400 年間の長い植民地時代を不本意ながら過ごした。

クロムウェルの占領政策は国土をイングランドの不在地主（主に高級軍人や資本家・商人）に無償で与え、穀物は不在地主により収奪された。ジャガイもだけで飢えを凌いだが 1845 年～49 年の 4 年間に及び、ジャガイもがフィトフィト菌で全滅し、餓死でおよそ 100 万人が亡くなり、100 万人がアメリカ・カナダ・他のヨーロッパ等に移住し、800 万人と言われた人口が 600 万人になったといわれている。先述したアイルランドの悲劇はカトリックを信奉していたが故に、プロテstantoに改宗を迫られ虐殺されたり、故郷を逃げ出すもの多数であった。アイルランドは、2 度も大きな試練に立たされたのである。アイルランドのジャガイもが病気の菌に侵された要因は、この土地の気象変動とも関わりのある寒冷で長雨にたたられる側面もあったが、ジャガイもの種いもを半分とか 3・4 分割したものを植えるという無精生殖（クローン）栽培だった。これが種からの栽培だったら被害を軽減できたと思われる。南米の原産地では毎年 10 種類ほど種から播いて病気を防いでいる。

さてスコットランドやアイルランドへ追いやられたケルト族は、アングロサクソンやゲルマン民族と同化し、言語も英語を主に使うようになり、主にケルト語（ゲール語）を使う人々は極めて少なく辺境と呼ばれている地方に分散されている。我々がイギリスと呼んでいる国名は正式には、グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国といわれる。スコットランドもアイルランドも祖先がケルト族であったことでイングランドからは色々と苦難を背負わされたが、スコットランドは、イングランドの議会の要請により王様を迎えており、アイルランドとは違う扱いだったと思われる。しかし連合王国といわれるが、それぞれがイングランドに対抗意識を持っている。最近のスコットランド分離独立運動のように今後のかじ取りが難しいところであろう。

グレートブリテンはもともとカトリックの国であったが、ヘンリー 8 世（1491 年～1547 年）がテューダー朝第 2 代のイングランド王のとき、後継者の男の子が生まれないためキャサリン王妃と離婚しようとローマ法王庁に願い出たが許されず、それではとイギリス国教会（ англиканチャーチ）をつくり、のち 5 名の妃と離婚している。

（記録：土井俊雄）

話し手：佐々木研吾

司会者：杉山 友一

**話し手のプロフィール**

秋田市出身。元日本銀行職員。本店のほか、秋田、札幌、小樽、金沢、盛岡に勤務、主として企画・調査部門や内部管理関係に従事。趣味は、地図を携えて山野や街を歩き回る自称「地理研究」。

1. 最近の経済情勢

最近の実体経済の動きをみると、2013年以来の大幅な金融緩和を中心とする経済再生政策（アベノミクス）の効果が浸透し、海外経済情勢の落ち着き、原油安などの好影響もあって、企業業績の好転、雇用情勢の改善などをもたらし、全体として緩やかな回復基調を続けている。

この間、14年4月の消費税増税（5→8%）を挟み、個人消費を中心に1~3月に駆け込み需要、4~9月にその反落がみられたが、その後の経済活動はほぼ平常に復しており、わが国経済は、少子高齢化、累積財政赤字など大きな懸案を抱えつつも、永年の停滞から脱して明るさを取り戻してきている。

—政府月例経済報告の「国内景気判断」は消費税増税による影響のあと、回復基調。

15年3月報告、「企業部門に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続いている」

2. 最近の特徴的な経済動向・政策

(1) 「成長戦略」の骨子決定 政府は、14年6月27日、「経済財政運営と改革の基本方針」を決定。これは、アベノミクス「第3の矢」の具体的な内容（主要点、以下のとおり）であり、その長い推進により、第1・第2の矢の効果と相まって、デフレ脱却が揺るぎないものとなることが期待される。

—法人実効税率の引き下げ（15年度予算 34.62→32.11%、数年で20%台に）

—労働時間の規制緩和、女性の就労支援、農協組織の改革、外国人就労の見直しなど

(2) 日本銀行の金融緩和の拡大 日本銀行は、14年10月31日、次のとおり「量的・質的金融緩和」の拡大を決定。この追加緩和策に関し日銀は、「消費税率引き上げ後の需要面での弱さや原油価格の大幅下落が、物価の下押し要因として働き、これまで着実に進んできたデフレマインドからの転換が遅れるリスクがあるため」と説明。

—マネタリーベース（銀行券流通高+日銀当座預金残高）の年間増加ペースの拡大 「60~70兆円」→「80兆円」

—長期国債の年間増加額の拡大 「50兆円」→「80兆円」

—長期国債買い入れの平均残存期間の拡大 「7年」→「7~10年」など

(3) 消費者物価の動向と勤労者の賃金引き上げの状況 15年2月の消費者物価指数（2010年=100、生鮮食品を除く）は、102.5と前年比+2.0%、消費税の影響を除けば±0と、大幅緩和政策導入時に示した「前年比2%上昇」の目標を下回っている。この点に関し日銀は、「主として原油価格低下の影響によるもので、その影響は前年比でみると次第に剥落し、前年比伸び

率は上がってくる」と説明。

一方、今春闘による勤労者の賃金引き上げは、前年実績を上回っている。

—3月20日現在の連合集計、回答を受けた組合数798（前年同期比+307） 定昇込み平均賃上げ額7,497円（同+1,006円）

ただ、家計の支出（物価の影響を除いた実質ベース）は、14年4月から11カ月連続前年を下回ったままで、まだ家計は潤っていない。

—15年2月の家計調査（総務省）、2人以上の世帯の平均支出額、265,632円 前年同月比△2.9%（実質）

3. 今後の課題

上述のように、このところデフレ克服の曙光が見えてきた感があるが、他方、日本経済は中長期的に次のような大きな難問題を抱えており、今後その解決に向かってまさに正念場を迎えることとなる。

(1) 大幅金融緩和政策からの「出口戦略」 デフレ脱却が確実となったとき、現行の極端な緩和政策からの「正常化」が必須となる。すなわち、日銀による大量の国債買い上げの縮小、積み上がった日銀の当座預金や資産の圧縮などを、過剰流動性によるバブル発生を避けつつ、かつ金融市场に混乱を招くことなく、漸進的に進められることが求められる。また現行のゼロ金利から脱し、正常な金利機能の復活も望まれる。

これらの点に関し総裁は、「当然その時の経済・金融情勢に適合した方法を考えるが、未だ時期尚早」とコメントしている。なお、08年11月から量的緩和政策を続けてきた米国は、15年11月を以てFRB（連邦準備銀行）による長期国債買い入れを打ち切り、目下ゼロ金利政策の終了時期を模索している。

(2) 膨大な財政赤字の縮減 1990年代のバブル崩壊以降、税収の減少・伸び悩みの一方で、景気下支えの公共事業や年金・医療・介護等社会福祉費を中心に歳出が増加したため、国の財政収支は累年赤字を余儀なくされ、既にGDPの2倍を超える、先進国最大の累積赤字（国債）を抱えるにいたっている。政府は、「2020年度に基礎的財政収支（プライマリーバランス）の赤字解消」の目標を掲げているが、その実現は極めて厳しいとの見方が多い。

もっとも、国債の大半は、直接間接、国民の金融資産によって保有されているほか、別途、国有の資産もあるので、さほど心配はいらないとの見方もある。しかし、何らかのきっかけで、金融市场における国債の信用が失われ、価格の暴落（金利の急騰）、大量の売却といった事態が起きれば、金融市场の混乱、財政の破綻を招くばかりでなく、ハイパーインフレーションを惹起し、国民生活全般が大混乱に陥る惧れがある。

こうした事態を避けるため、経済運営に余裕を生じたときこそ、財政の効率化を進め、次世代に残す赤字を減らしていくことが望まれる。

(3) 生産年齢人口の確保 少子高齢化の進行に関しては、広くその影響の深刻さが認識され、対策の必要性・重要性が叫ばれてきた。わけても、生産年齢人口（15～64歳）の確保が最重要課題であり、そのためには、まず女性の出生率の向上（子育てしやすい社会の実現）が求められる。政府は、15年3月20日、2020年までの「少子化社会対策大綱」を決定、正しい妊娠・出産の知識についての学校教育や自治体による結婚支援策のほか、第1子出産後の女性の就業率、男性の育児休業取得率など多くの数値目標を定めている。（記録：佐々木 研吾）

野外サロン

<横須賀「軍港めぐり」・自然博物館・記念艦「三笠」等見学>

日 時 27年4月23日（木） 7:45～18:30

行 程 八王子駅⇒高尾山I C⇒海老名S A・圏央道・東名・横横道⇒観音崎自然博物館⇒横須賀ポートマーケット「なぶら」（昼食）お買い物・記念艦「三笠」見学⇒軍港クルーズ⇒保土ヶ谷バイパス⇒東名海老名S Aで休憩⇒J R八王子南口

参加者 76名（サロン一般会員43名・プロバス会員33名）

お出かけ日和の良い天候に恵まれ、定刻8時に2台のバスに分乗して横須賀に向けて出発しました。新芽と若葉の美しい高尾インターから、圏央道・東名・横横道で以前より横須賀へのアクセスがずっと近くなり便利になったルート。途中、相模川沿いや相模平野を望む辺りは素晴らしい景観が広がっていました。富士山が見えなかったのは残念でした。

横須賀市内に入り、自衛隊の学校辺りには制服姿の学生、訓練をしている学生等が多くみられました。ほどなくして海に面した観音崎自然博物館に到着し、バスごとに記念写真を撮り、博物館の見学。

観音崎自然博物館

観音崎の森と海の動植物を生きている状態で展示している。入った正面には、元気よく泳ぎ回っている「ミヤコタナゴ」の水槽が目に入る。タナゴの仲間は皆、二枚貝の中に産卵するのだそうですが、貝が少なくなっている現在は人工的に対応していること。



展示物は人と水との関わり、東京湾の自然、観音崎の磯の生物、つくる漁業等、立体的に解り易い展示が工夫されていました。さらに、水槽の魚に餌付をするところの見学、タッチプールではタコやウニ、ヒトデ、カニなどに触れる体験コーナなどがあり、タコに触ってみましたが吸盤の強さにびっくりしました。



横須賀ポートマーケット「なぶら」での昼食・お買い物・「三笠」見学

昼食会場のお店の名前「なぶら」とは漁師、釣り人の言葉で魚の群れをあらわすこと。パック仕入れではない、佐島の漁師からの直送の新鮮さをイメージしていること。

野外サロンの楽しみのひとつがランチですが、今回も海の幸「お刺身の船盛定食」をおいしくいただきました。昼食後はマーケットで海の幸の買い物を楽しみ、また記念艦「三笠」の見学などにそれぞれ自由に過ごしたひと時でした。



軍港クルーズ

アメリカ海軍や海上自衛隊の艦船を間近で見ることのできる横須賀ならではのクルーズは、ポートマーケットに程近くの汐入ターミナルから出発しました。海の上は潮風が心地よく、海上自衛隊のヘリ搭載艦やイージス艦、空母ジョージワシントンも停泊しており、改めてその威容に驚かされました。

アッという間に研修の一日が終わり帰りのバスの人になりました。観光会社から差し入れて頂いた日本酒、梅酒、ウーロン茶など思い思いに頂きながら、海老名サービスエリアで休憩、高尾インターまでは10分程で八王子市内に入り、出発地の八王子駅南口まで30分余り早めの帰着でした。

高速道路が早く便利だということを改めて思い知られました。
(記録：有泉裕子 写真：矢島一雄)



思い出深い横須賀～野外サロンに参加して

小田切なつ子



4月23日の「軍港めぐり」は天候にも恵まれて充実の一日でした。毎回入念な計画で、ゆっくり楽しませていただきました。ありがとうございました。

横須賀は私にとって、思い入れのあるところです。海軍だった父がここから南太平洋の島（トラック島）へ出航しました。昭和19年私が4歳の時です。祖父と母に連れられて夜行列車で信州からはるばる最後の面会に横須賀の海軍基地にいる父を訪ねました。

父は、終戦の秋、奇跡的に復員したのですが、その時は生きて帰ることなど望めない戦争末期のことです。幼い私のおぼろげな記憶としては、はるかに海を望むかなり高い崖の上のあずまやで、勤務を終える父をみんなで待ちました。海軍の制服のままの父に抱えられてすこし恥ずかしかったことが思い出されます。私が産まれてすぐに出征したので、それまで父親を知りませんでしたし、面会の重大さを知る由もなく、初めて海を見て無邪気にはしゃいでいた気がします。

今回、あの高台はどのあたりだったかと記憶を繋ごうと思いましたが、全くわかりませんでした。無理もないことです。あれから70年。当時敵だった米軍と我が軍（首相の発言）が仲よく同居しているわけですから。

父は我が家を訪ねた折に、横須賀の三笠艦と皇居と明治神宮へ行きたいといいました。帽子をとって、最敬礼していた姿が思い出されます。

今回天皇陛下と妃殿下が南洋の島へ慰靈に行かれましたが、地図で探しても南太平洋にばら

まかれた豆粒ほどの島々。魚雷と空爆との間をぬって、目的の島へたどり着くのも命がけ、生きて帰ったことが不思議です。

復員したのは私が小学校へ上がる年の秋でした。しばらくは馴染めなくて「とうちゃん」とは呼べませんでした。父もつらかったんだろうと思います。

今回の軍港めぐりでは、友好的に手を振る兵隊さんと、軍艦の威力を説明するガイドの明るい声がなんとも不思議な心持ちのする体験でした。停泊していた軍艦が旭日旗をはためかせて横須賀港を出港する日のないことを願います。（サロン会員）

記念写真 1号車の皆さん（観音崎自然博物館をバックに）



2号車の皆さん



閉講式

日 時 平成 27 年 5 月 14 日(木) 14:30~15:00

会 場 八王子エルシィ 4 階

出席者 サロン会員 55 名 プロバス会員 56 名 来賓 9 名 計 120 名



来賓 八王子市長	石森 孝志様
八王子市教育委員会 教育長	坂倉 仁様
東京八王子南ロータリークラブ 会長	長谷部良幸様
八王子市民活動協議会 理事長	石井 利一様
東京多摩プロバスクラブ 会長	山田 正司様
同副会長	神谷 真一様
同幹事	西村 晃様
同前幹事長	北村 克彦様
東京日野プロバスクラブ 会長	鷺尾 昭夫様

(司会: 地域奉仕委員長
寺田 昌章)



式次第

		司 会	寺田 昌章
1	会長挨拶		土井 俊玄
1	来賓紹介		(司会)
1	来賓祝辞	八王子市長	石森 孝志様
		八王子市教育委員会 教育長	坂倉 仁様
		東京八王子南ロータリークラブ 会長	長谷部良幸様
		八王子市民活動協議会 理事長	石井 利一様
		東京多摩プロバスクラブ 会長	山田 正司様
1	参加者代表挨拶		森口 成男様
1	特別講話 「在宅医療と看取りまで」	講 師	数井 学様

会長挨拶　土井　俊玄



第 19 回生涯学習サロンもいよいよ最終日を迎えました。関係各位の温かいご支援を賜り、また多くの市民の皆様の参加を得て、実り多い有意義な 6 日間となりました。また、開講式・閉講式には、ご多忙の中、市長、教育長をはじめ、多くのご来賓の方々にご出席を賜り、サロンに花を添えて頂きました。

今回の涯学習サロンには四つの大きな柱がありました。まず開講式には、NHK の「日曜討論」の司会者としてお馴染の島田敏男先生をお迎えし、難しい政治問題を平易にお話して頂きました。

第 2 の柱として、クラブ員が講師を務めたサロンでは、12 人の会員がそれぞれの専門分野を解り易くお話ししました。

第 3 の柱として、野外サロンでは横須賀「軍港めぐり」を実施し、アメリカ海軍や海上自衛隊の艦船などを、解説付きの港内クルージングで見学し、見聞を広めました。

最後の第 4 の柱は閉講式の特別講話として、数井クリニック院長の数井学先生に、「在宅医療と看取りまで」のお話を頂きます。

私達プロバス会員は、さらに研鑽を重ね、より魅力あるサロンにしてゆきたいと考えております。どうぞご支援と忌憚のないご意見を賜れば幸いであります。

来賓挨拶　八王子市長　石森　孝志様



ご紹介いただきました八王子市長の石森です。2月 26 日に開講された学習サロンも今日は閉講式をむかえ、受講された皆様お疲れ様でした。東京八王子プロバスクラブは南ロータリークラブの 10 周年を期して発足したと伺っております。

それ以降、プロバスクラブにおかれましては、生涯学習の推進をはじめ、子供たちのために宇宙の学校を開校して頂くなど、積極的な活動に厚く御礼申し上げます。行政といたしましても、生涯学習は市民が豊かに暮らしてゆく上で大変重要な事業と認識しておりますので、引き続き充実を図ってゆきたいと考えております。

サロンでは様々な講演がございました。受講された皆様には、こうした講演を生かされて、それぞれの地域、立場でご活躍頂きたいと思います。

八王子市は本年 4 月から中核市に昇格しました。今まで以上に、八王子市の魅力的な資源、地域特性を生かしながら、ワンランク上を目指して参りたいと考えております。合わせて、2 年後の平成 29 年には市制施行 100 周年の節目の年を迎えます。現在、実行委員会を立ち上げて記念事業をどうするかの議論を進めております。メイン事業としましては「都市緑化事業」が決定されております。それ以外の事業につきましても、市民の皆様から様々なご提案を頂き、先代の築いた素晴らしい 100 年に、さらに新たな街づくりの記念事業にしてゆきたいと思いま

す。皆様方にもご支援をお願いする次第であります。

本日のサロンの閉講に当り、プロバスクラブの益々のご発展、皆様のさらなるご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とします。

来賓挨拶 八王子市教育委員会教育長 坂倉 仁様



教育長の坂倉です。本日は生涯学習サロンの全日程を恙なく終了され、閉講式を迎えたことを心からお喜び申し上げます。開講式の4月26日は予算委員会の初日と重なり、お伺いできませんでした。本日はお招きいただきありがとうございました。

プロバスクラブの皆様の深い人生経験に裏付けられた生涯学習サロン、高度な生涯学習の開催を大変ありがたく思っております。私の立場といたしましては、子供たちを対象に宇宙の学校を開校され、主に小学校の低学年と親御さんを対象に実施して頂いています。子供たちの理科離れが問題となって久しいのですが、お陰様で理科好きという子供たちが増えています。また、今年の2月末には、市としましてもJAXAと提携することが出来ました。ありがとうございました。

終りに、生涯学習を通して、お一人お一人が楽しんで、さらに人生が深まりますよう、今後ますますのご発展と行政へのご協力をお願い申し上げご挨拶とします。

来賓挨拶 八王子南ロータリークラブ会長 長谷部 良幸様



ご紹介頂きました東京八王子南ロータリークラブ会長の長谷部でございます。閉講式の開催おめでとうございます。4年前、駅前のいちらう塾に話を聞きに行ったことがございます。その動機は新聞記事や経済記事などが理解できず、少しでも解ればと受講したわけであります。今年のサロンは時間的に聴講できませんでしたが、来年は是非この生涯学習サロンを聴きたいと思っております。

また、本日の特別講話は大変興味あるところであります。私の父も母も自宅で亡くなりました。祖母も曾祖母もやはり自宅でした。母も祖母も長期間の介護でした。その頃は今のような介護保険等がない時代でした。そんなことを思い出しながら、今日の話を聴いてみたいと思います。雑ばくでございますがお祝いの言葉とします。

来賓挨拶 八王子市民活動協議会理事長 石井 利一様



ご紹介いただきました市民活動協議会の石井でございます。本日の閉講式の開催おめでとうございます。プロバスクラブさんは私どもの団体会員としてご支援を頂いております。まずもって御礼を申し上げます。

受講生の皆さんには比較的若くない方々であり、日本全体が高齢化しています。間もなく八王子市も4人に1人がシニアの時代を迎えます。今全国で100歳以上の方が58,829人いらっしゃる。世界に冠たる長寿国であります。ここで困るのは医療費の問題です。要介護の方々に大変お

金がかかります。そこで国は方向転換して、要支援者の段階の方々には財政を徹底的に減らす。八王子市もその例外ではありません。ではどうするのか。ここは民間の力でカバーしていくかざるを得ないと思います。そういう意味では、プロバスクラブの生涯学習サロンは、本当にいい企画あります。サロンに来ている方は皆お元気。サロンに通っていい話を聞く。私が羨ましいのは、サロンの講師はほとんどが会員で人材の宝庫。こんなクラブはなかなかありません。そして教養豊かな話を聞かせてもらえる。

19回の歴史のあるサロン。是非続けて八王子のシニアを元気づけて頂きたい。民間のNPO団体としては、これからもいろいろと知恵を絞って、お金のかからない、みんなに喜ばれる企画をやってゆきたいと考えています。その模範となるのがこの生涯学習サロンであり、これからも益々この生涯学習サロンを活発化していただくことを祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

参加者代表挨拶 森口 成男様



シニアタレントの森口です。受講生を代表して一言御礼のご挨拶を申し上げます。私は4年前、友人の紹介で学習サロンを受講する機会を頂きました。現役で培った経験を生かして講義される講師の方々の見事な生きざまに感動し、感銘を受けました。プロバスクラブ第12代会長の宮崎さんは私の大先輩であります。

10年前定年退職し、大森の芸能シニアタレント養成所を卒業しました。現在は高齢者施設や地域の生き生きサロン、イベントなど、年間90回ぐらいこなしております。4月の初めに大沢の桜フェスタに司会として招待いただきました。62歳からギターを、65歳からバイク、66歳から腹話術に挑戦いたしました。当初は暗中模索でしたが、人に喜んでいただける、自分に適した社会貢献を考えた時にたどり着きました。

最近は認知症が470万人、数年後には800万人と予測されております。私は現在、94歳の母親を在宅介護しております。あんなに元気だったのにと思うとき、辛い場面を目の当たりにすることが日常です。しかし、いずれは自分も行く道だからと楽しめる介護に取り組んでおります。

サロンを受講しまして、生涯学習の重要性を痛感いたしました。毎回楽しみに受講いたしております。今回は石田先生の「シルバーエイジを輝いて過ごすために」では、我々の世代が避けて通れないテーマに大胆に切り込んでいかれた内容であり、大変興味深く拝聴し、感銘を受けました。長時間の熱い講義には頭が下がりました。

最期にご提案が一つあります。笑いは健康長寿の源です。笑いは人を幸せにします。生涯学習サロンに笑いをテーマにした講義を一つぐらい如何でしょうか。来年は友人にも声を掛けて、一緒に受講したいと思っております。

学習サロンを運営された方々に御礼、感謝を申し上げます。受講者代表のご挨拶の機会を頂き、大変ありがとうございました。

(記録:河合和郎)

講 師 数井 学先生
数井クリニック院長



講師紹介

数井先生のご略歴を紹介させていただきます。数井先生は昭和 57 年に順天堂大学医学部を卒業され、順天堂大学胸部心臓外科へ入局されました。八王子には 19 年前の平成 8 年に来られ、聖八王子病院院長を経て、平成 19 年に数井クリニックを開設、医院長として今日に至っておられます。現在、八王子市医師会の理事、八王子自宅介護支援事業所協議会の代表理事を務めておられます。

本日は私たちにとって、非常に身近で切実な悩みであり、高齢化の中で避けて通れない問題であります「在宅医療と看取りまで」というテーマで、ご講演をいただきます。 (司会者：寺田昌章)

皆さん今日は。本日はこのような盛大な会にお招きいただきましてありがとうございます。現在、こういう仕事をしていると、ありがたがれることもあれば、恨まれることもあります。今日ご参加の皆様の中で、私を恨んでいる方がいらっしゃることを期待しています。どうかよろしくお願ひします。

I 超高齢社会と 2025 年問題

・高齢人口の増加と多死時代

日本人の寿命は世界一です。特に女性が 86 歳で世界一。男性が 80 歳。日本は既に高齢化社会で、65 歳以上が 24% で 4 人に 1 人。2025 年には団塊の世代の 65 歳以上が、あと 10 年で 75 歳。後期高齢者が 2,000 万人となります。

75 歳以上になると 3 割以上の方が介護保険を使っています。10 年後には介護サービスを使う人が爆発的に増えています。これにどう対処するかが大きな問題となります。同時に 70~75 歳を超えると入院治療による医療費が相当にかかるべきです。このまま 10 年続けていくと社会保障の破綻が問題になってきます。

これからは多死の時代になります。人口減少の日本では、生まれる子供より亡くなる人口の方が多い。健康に歳をとる方が増えていますが、やはり最後は死を迎えます。人の終りに向かう終活ということを念頭において考えておく必要があります。

八王子市では、平成 25 年に年間 4,500 人近い方が亡くなっています。その内自宅で亡くなった方が 400 人ぐらい。ただし、その半分強は孤立死です。ですから、本当に家族に看取られて亡くなった方は 200 人弱です。そのくらい少ないわけです。現在 80% の方が病院で亡くなり、12% の方が自宅で亡くなっています。亡くなる直前の状態は 4 つのパターンに分けられま

す。一つは突然死。二つ目は癌死。三つ目は心筋梗塞や狭心症、弁膜症、あるいは透析の患者さんなどが病気が悪くなって亡くなる治療死。もう一つは、緩やかに徐々に死を迎えるケース。

II 八王子市における在宅療養

- ・寝たきり状態になるということ
- ・介護保険制度の活用や地域包括ケア
- ・在宅医療でできること

介護保険に関わる八王子市民の実態は、介護認定の4度・5度、つまり寝たきりの方が約5,000人います。この内、本当に寝たきりで自宅で生活できる方は1,000人ぐらいしかいません。寝たきりになってしまう原因（厚労省のデータ）で一番多いのがいわゆる脳卒中で脳梗塞、脳出血でどれつが回らなくなったり、体の半分が麻痺する病気。

体が不自由になって来る理由として、膝や腰が痛い、骨粗鬆症、そして転んで大腿骨や股関節の骨折。こうした病気や高齢とともに筋力が落ちてきます。トイレに行けなくなるという方が半数になります。自宅で要介護5という状態になってしまったときに、介護する中で一番大変なのが排泄の介護。自分自身でトイレに行けないことが一番つらいことになります。一日に何度もあるわけですから、介護者にとっても肉体的に大変なことになってきます。

そして食事の問題。自分で食べる能力があればいいのですが、口元にスプーンを持っていけない状態。これも一日に三度、場合によっては特別な食事を作らなくてはいけない。同じものが食べられないとなると大変なことになります。食事を作って排泄の介護をしても、床ずれを防ぐために体位を変えなくてはならない。こういう苦労が毎日続くことになる。これが要介護5の寝たきりの介護ということです。

寝たきりになる大きな要因として、よく言われるのが認知症。アルツハイマー病という名前で知られていますが、他にも3~4種類の病気があり、残念ながら増えつつあります。八王子市では平成22年に1万人近い方が認知症の診断を受けていますが、実態はもっと多いとも言われており、介護認定を受けている方が1万人いることになります。

寝たきりの介護も大変ですが認知症の介護も壮絶です。最初は物忘れからで、一番厄介なのが感情を抑えきれなくなってきて、怒ったり、妄想ですね。それで家族関係が壊れて、家族が疲弊をしてしまう。その後だんだん活動力が落ちて、最終的には優しいお爺ちゃんお婆ちゃんになる。この二つの状態が介護が必要となる大きな要因となります。

これをどう支援するかということで、介護保険制度ができた。脳梗塞なり認知症で寝たきりの方が家にいて、それを助けるための主治医がいて、ケアマネージャーがいろいろプランを作る。そこに看護師がいたり、ヘルパーを行かせたり、あるいはリハビリに行ったり、訪問入浴をしたり、薬屋さんが届けたりが介護保険制度の中身ですが、これ以外にもいろいろ開拓して、家族を支える仕組みが今始まっています。

そういう病気になった時、皆さんが駆けつけるのが市役所ですね。高齢者福祉課の介護ヘルパーに相談する。15地域にある地域包括支援センター（高齢者安心相談センター）が高齢者に関する全ての問題の相談に乗ってくれます。まずそこが入り口となって、ケアマネージャーを探してもらうことになります。

今、訪問診療をしている中で私にとって、すごく頼りになるのは訪問看護ステーションです。訪問看護師は八王子市に 200 名ぐらいいます。十数か所の施設で、日曜・祝日・正月、夜も昼も対応していますから、この方たちを抜きにしては在宅医療というのではないです。他にも介護を支える職種がいろいろあり、一番の要となるのがケアマネージャーです。もちろん日常生活支援の中でヘルパーさんを忘れる事はできません。

八王子市には、このほか八王子市医師会 24 時間在宅支援体制として、10 人の先生方が交代で当直し、在宅の患者さんで何か問題があった場合に対応しています。

そういう中で、患者さんを支援していくわけですが、在宅医療で行っていることは、血圧や熱を測ったり、顔色などで様子を見るわけです。一番多いのが夏の熱中症です。冬は風邪をひき、インフルエンザで高熱を出して肺炎になるとか。ですから夏と冬は忙しい。寝たきりの床ずれの病気とか、癌の対応が多い。他には採血検査、レントゲン、心電図、点滴やりハビリもあります。ヘルパーさんの介護による人工呼吸器。薬剤師や歯医者さんの訪問もあります。そういう人たちがご自宅に行って、病院に近い診療状況をつくることはできています。八王子市の高齢者安心相談センターや医師会に電話をいただければ、市民の在宅医療の関し、どこに先生がいますとか、老人施設について対応してくれます。是非、使ってみてください。

私が思うに、介護度 3・4・5 の生活を支えているのは、そのほとんどが介護です。医療というのではなくんですね。もう毎日毎日が介護ですから、それをどう長続きさせるかということが一番大きな問題になってきます。

III 八王子で逝く

- ・最後を迎える病因とは
- ・どこでどんな最期を迎える

日本人がどういう死因で亡くなるかというと、若い時は自殺ですね。壮年期の 50 代から 70 代は癌で死んでいる。高齢者になってくると、癌を乗り越えて老衰、肺炎、心臓麻痺です。私が診ている中で、一番看取りの多い病気の死因は癌です。二番目が心臓病で三番目が肺炎です。癌はすごい勢いで増えています。これも高齢化が原因ですね。歳をとることによって癌の発生率が高くなってくるわけです。

在宅医療で一番大事なのは介護だと言いましたが、癌も変わりません。癌で一番つらいのは痛みですから、今はモルヒネを使います。自宅でも簡単に使えるようになっています。モルヒネで痛みを抑えることができれば、痛みを忘れた状態で家族と話したり、食べられる状態が作れるわけです。やはり一番苦しみを取る妙薬はご自宅ですね。病室の壁を見ながら闘病するというのと、住み慣れた自分の部屋で、家族がそこにいるというのとでは全然違いますね。

もう一つ問題になって来るのは、死因の三番目にあげた肺炎ですね。これが一番厄介です。誤嚥性肺炎ですね。90 歳以上の寝たきりの方の 9 割は肺炎で死にます。

最期の迎え方として

これは 90 歳を超えた寝たきりのお婆ちゃんのケースです。家でお嫁さんが診ていました。この方は老衰で亡くなりました。夜電話があり、息を引き取ったというので、死亡診断書を書き

に行きました。門を入ると笑い声が聞こえるんです。人が亡くなったのに笑っているのです。入ってみるとお婆ちゃんの周りに子供たちが3・4人いて、その後ろに孫がいる。ひ孫が階段のところを走り回って声を出して笑っているのです。こういう大家族は、今はありませんね。でも、みんなが“お婆ちゃんはよかったです。”と言うので、状況が分からぬ子供たちは走り回っていたのです。そういう光景を見ると、自分はそとはならないと解っていますが、羨ましく思いますね。今の時代はほとんどないですね。

今はむしろ、連続介護、多重介護、遠距離介護。これはお嫁さんの話ですけれども、自分の舅を見て姑を見る。そして自分の父親と母親を見る、と連続してくる。多重の場合は、自分の嫁さんを見る。なおかつ自分の母親を見る、という多重介護。遠距離は親元を離れて、両親二人を残しておいて、父親が倒れたから週末に行く。お嫁さんが大変ですね。介護保険が始まる前は、老人ホームに入れるなどはとんでもない時代でした。

今、誰が見ているか？今の時代お嫁さんは見ません。結局、配偶者同士になり旦那の方が年上でですから、ほとんど妻が見ますよね。もちろん逆もあります。ご主人が認知症の奥さんに朝から晩まで、甲斐甲斐しく付き添っている人もいます。そういう中で、今は子供ですね。特に娘さんが見る時代になっています。こういう社会構造に変化しています。自分がどうやって看取られるか、どうやって家族関係を作っていくかが大事です。

厚労省の調べでは、単身の高齢者と夫婦のみの高齢者が圧倒的に増えています。私は絹ヶ丘、北野台、みつい台などへ行きますが、空き家も多く、二世代で住んでいる方はほとんどいません。これは高齢者問題ではありますが、老々介護、さらに悪いのが認認介護ですね。お互いに認知症になってしまいます。多くなってきました。こういう方達を誰が見るのは、今国が悩んでいるところです。

八王子の65歳以上の人一人暮らしは1万人を超えてます。旦那さんを看取った奥様が圧倒的に多いわけです。8割が女性ですから。一人住まいの男性は3,000人。最近ではお爺ちゃんもお婆ちゃんも元気ですよ。元気だから一人暮らしをしているけれども、本当に最期を迎えるときどうするんだと。あまり考えていません。なった時はなった時。

最後になりますが、死後の世界はどうなるのか、怖いのか、どうやって死を迎えるのか、いろいろ考えますよね。最終的には考えてもしょうがない。経験者はいないですから。“結局、今だね”って言う話を耳にします。徒然草でも「身を養いて何事かを待つ、期するところ、ただ老いと死とにあり」、行き着くところは老いと死であると。

あえて言えば、私の個人的な感じですが、数多くの死を見ていると何もしないのが一番安らかだと思います。病気の種類にもよりますが漠然とそう思っています。さっきも肺炎の話をしましたが、90・100歳になって、また元気になつてもたかが知れているじゃないですか。どこで自分の中で清算するか。だから病気と闘って、8・9割の方が怖がりますよ。早く迎えがくるようにしてくださいとか、お願いしますとか。私はどこかで自然に任せるのが一番だと今は思っています。

その時に自分のエゴではないですが、家族、友人、近所を大切にするということが、煩わしいことですけれども、行く行くは自分が亡くなるということを想像したときに、そういう人付き合いを大切にしておくと、ああ良かったなと思うのではないか。そういう気持ちがあります。

そういうことで、有意義な話になったかどうかわかりませんが、大体私が担当している内容を説明しまして、現時点での状況を紹介させていただきました。

ご清聴ありがとうございました。

(記録：山崎光子・河合和郎)

閉講の言葉 副会長 永井 昌平



第 19 回生涯学習サロンも無終了することができました。皆様のご支援、ご協力に感謝いたします。生涯学習サロンは、改善、工夫を図ってまいりましたが、皆様の目からすれば、行き届かない点が多くあるかと思います。忌憚のないご意見をアンケートにお書きいただければ幸いです。皆様のご意見をもとに、来年はさらに改善を加え、より楽しく学べるサロンにしたいと思っております。

来年もお会いできることを期待して、第 19 回生涯学習サロンの幕を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

さよならパーティー

◎さよならパーティーは宮城安子、荻島靖久両会員の息の合った司会進行でスタートしました。

◎土井俊玄会長の挨拶

◎吉田信夫元会長の音頭で乾杯



◎オカリナ演奏



山崎光子会員によるオカリナ楽器の解説と演奏
“いにしえ～万葉のころ” “コンドルは飛んでいく” ……壮大な草原、シルクロードの風を感じさせるオカリナの音色に会場の皆さんにはうつとりと聞き入りました。

◎シニア・ダンディーズの合唱



“出発・進行・ピー”的スタート合図がすっかりお馴染となつた“汽車ぽっぽ”で合唱が始まりました。新調したてのピンクのジャケット・臙脂の蝶ネクタイが若々しくて眩しい。

◎司会・進行は立川富美代会員、ピアノ伴奏は畠野かん奈さんのコンビです。



◎フルート演奏

八王子フィルハーモニー管弦楽団・元団長の武永秀夫さんがフルート演奏の友情出演

◎和やかな交歓



◎シニア・ダンディーズの合唱の最後は“ふるさと”“ゆうやけこやけ”。

会場の全員が手をつなぎ“友情の輪”を作り大合唱。

「また来年」の決意を新たに、さよならパーティーは幕を閉じました。

◎最後をしめる寺田昌章委員長



(写真：岡本宝蔵・矢島一雄 記録：飯田富美子)

第19回東京八王子プロバスクラブ生涯学習サロン参加者数

	期日	一般参加	PC会員	合計
開講式・特別講話	平成27年 2月 26日(木)	57名	50名	107名
サロン第1週	〃 3月 12日(木)	64名	55名	119名
サロン第2週	〃 3月 26日(木)	49名	57名	106名
サロン第3週	〃 4月 9日(木)	42名	56名	98名
野外サロン	〃 4月 23日(木)	43名	33名	76名
講式・特別講話	〃 5月 14日(木)	55名	56名	111名
計		延 310名	延 307名	617名
さよならパーティー		37名	56名	93名
計		延 347名	延 363名	延 710名

(来賓・特別講師を除く)

来賓及び特別講師（21名）

1. 開講式来賓(10名)

八王子市民活動協議会	理事長	石井 利一様
東京多摩プロバスクラブ	会長	山田 正司様
東京日野プロバスクラブ	会長	鷺尾 昭夫様
東京多摩プロバスクラブ	副会長	神谷 真一様
東京多摩プロバスクラブ	理事	倉賀野武士様
東京多摩プロバスクラブ	理事	稻田 興様
東京多摩プロバスクラブ	幹事	西村 政晃様
京多摩プロバスクラブ	前幹事	北村 克彦様
東京日野プロバスクラブ	前会長	後藤 一郎様
東京日野プロバスクラブ	幹事	後藤 紀之様

2. 閉講式来賓（9名）

八王子市長		石森 孝志様
八王子市教育委員会	教育長	坂倉 仁様
東京八王子南ロータリークラブ	会長	長谷部良幸様
八王子市民活動協議会	理事長	石井 利一様
東京多摩プロバスクラブ	会長	山田 正司様
東京日野プロバスクラブ	会長	鷺尾 昭夫様
東京多摩プロバスクラブ	副会長	神谷 真一様
東京多摩プロバスクラブ	幹事	西村 晃様
東京多摩プロバスクラブ	前幹事	北村 克彦様

3. 来賓（2名） NHK解説主幹 島田敏男先生・数井クリニック院長 数井 学先生

第19回プロバス生涯学習サロン

平成27年6月11日発行

発 行 東京八王子プロバスクラブ

〒192-0056 東京都八王子市追分町10-15

TEL 042-626-4343 FAX 042-649-6178

編 集 情報委員会

印 刷 有限会社三共社

〒192-0041 東京都八王子市中野上町2-29-1

TEL 042-625-8325 FAX 042-625-8369